LIXIL

# 収納網戸 NEW 暖蘭物語 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

| 安全に関する記号 | 記号の意味 |
|---|---|
| 警告 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。 |
| 注意 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。 |
| 一般情報に関する記号 | |
| ポイント | ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。<br>●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。 |
| ※ | ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。<br>●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。 |
| 補足 | ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。 |

**※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。**

## ＜施工の前に＞

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

## ＜施工上のご注意＞

注意

●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

## ＜施工上のご注意（つづき）＞

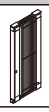
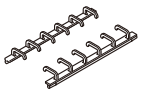
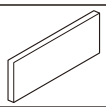
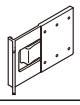
**ポイント**

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

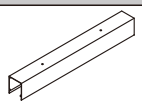
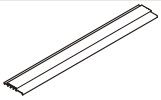
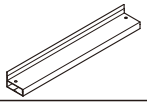
●取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れ取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## ■梱包明細表　※施工前に部材・部品が揃っているか必ず確認してください。

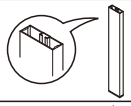
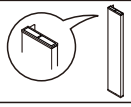
【1】網戸本体セット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 標準 | | 腰壁 | |
| | | A | B | A | B |
| 収納網戸 |  | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 部品箱 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 下がり止めブラシ |  | 10 | 10 | 10 | 10 |
| ブラシストッパー |  | 4 | 4 | 4 | 4 |
| アンカープレート | | 4 | − | 4 | − |
| パネル開き止め |  | 1 | 1 | 1 | 1 |
| パネル開き止め裏板 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 【1-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2 | | 8 | − | 8 | − |
| 【1-2】φ4×8トラスタッピンネジ3種 D=8 | | 3 | 3 | 3 | 3 |

【2】上枠・下レールセット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 上枠 |  | 1 |
| 下レール |  | 1 |
| 上枠取付材 |  | 1 |

【3】戸当り・吊元枠セット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | 標準 | 腰壁 |
| 戸当り枠 |  | 1 | 1 |
| 吊元枠 |  | 1 | 1 |
| 戸当り枠取付材 | | 1 | 1 |

E320_201304D

【4】吊元枠セット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 吊元枠 | | 1 |

【5】部品セット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 上枠キャップ（小） | | 2 |
| 上枠キャップ（大） | | 4 |
| 上枠ジョイント | | 2 |
| 上枠取付材端部キャップ | | 6 |
| 網戸ストッパー | | 1 |
| 【5-1】φ4×16サラドリルネジ | | 27 |
| 【5-2】φ4×60サラタッピンネジ1種 | | 27 |
| 【5-3】φ4×40サラタッピンネジ1種 | | 27 |
| 【5-4】S6フィッシャープラグ | | 27 |
| 【5-5】φ4×13<br>サラドリルネジ D=6 | | 24 |
| 【5-6】φ4×13<br>ナベドリルネジ D=8.2 | | 70 |
| 【5-7】φ4×13<br>ナベドリルネジ D=8.2 | | 3 |
| 【5-8】M4×5サラ小ネジ D=6 | | 5 |
| 取扱説明書<UE083> | — | 1 |
| 取付説明書<E320> | — | 1 |

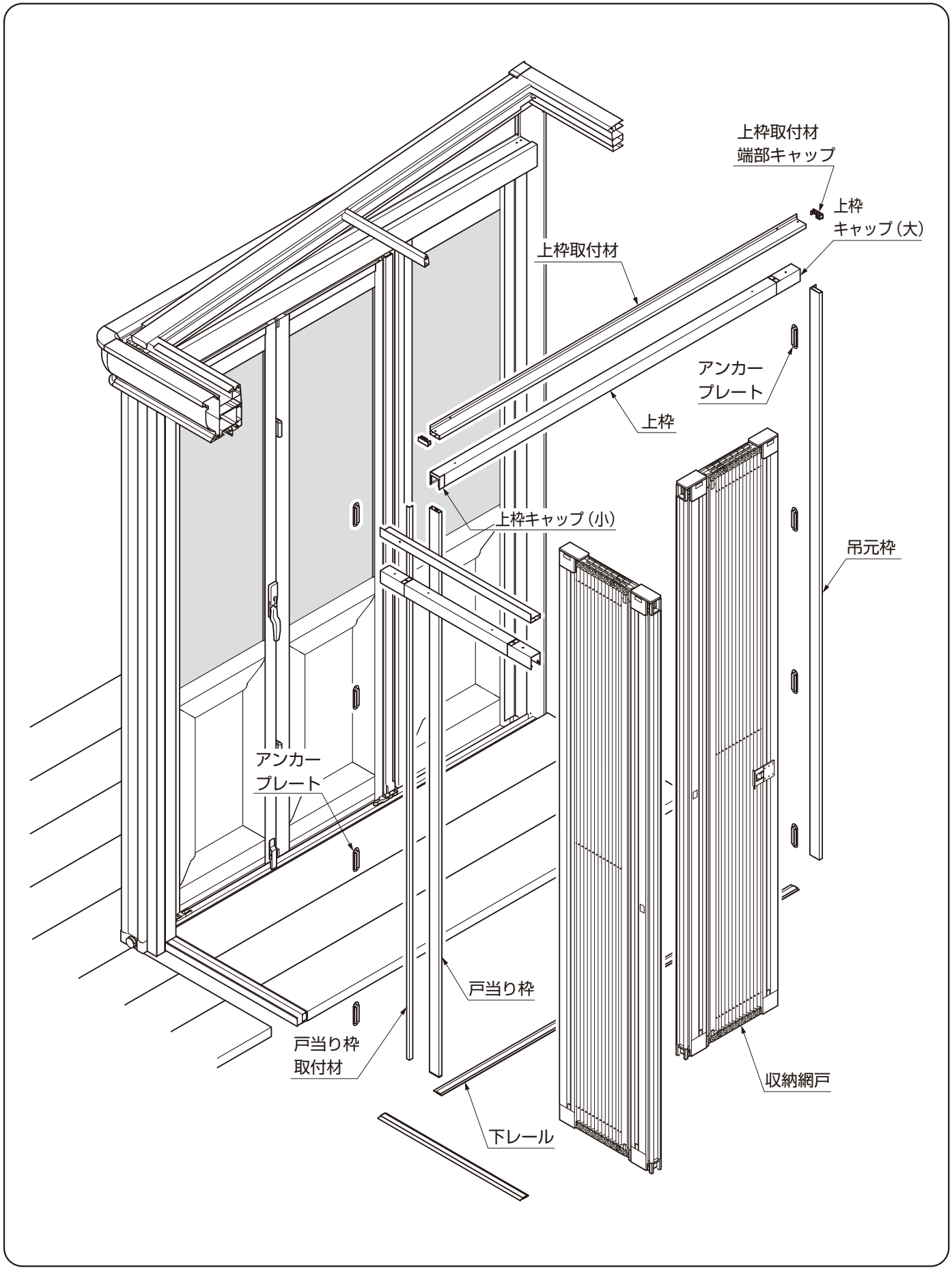
【6】間口用追加部品セット

| 名　　称 | 略　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 上枠キャップ（大） | | 2 |
| 上枠ジョイント | | 2 |
| 上枠取付材端部キャップ | | 2 |
| 網戸ストッパー | | 1 |
| 【6-1】φ4×16サラドリルネジ | | 14 |
| 【6-2】φ4×60サラタッピンネジ1種 | | 14 |
| 【6-3】φ4×40サラタッピンネジ1種 | | 14 |
| 【6-4】S6フィッシャープラグ | | 14 |
| 【6-5】φ4×13<br>ナベドリルネジ D=8.2 | | 40 |
| 【6-6】φ4×13<br>ナベドリルネジ D=8.2 | | 3 |
| 【6-7】φ4×13サラドリルネジ D=6 | | 12 |
| 【6-8】M4×5サラ小ネジ D=6 | | 5 |
| 【6-9】φ4×10<br>トラスタッピンネジ3種 D=8 | | 13 |

**補 足**

●間口用追加部品セットは、中間柱を使用する腰壁タイプの一方の間口および連棟時の連棟側の間口で使用します。
●使用するネジとその対象部材は【5】に記載のネジと同様ですので、【5】で不足の場合は、【6】より同様のネジを使用してください。

# 1. 各部名称

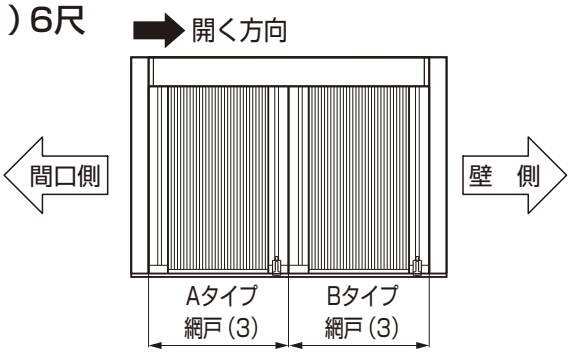



E320_201304D

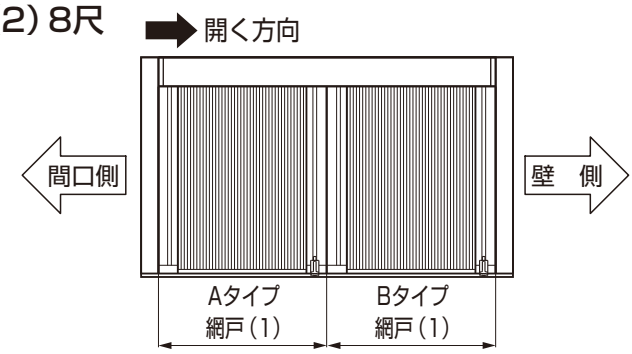
## 2. 網戸パネル展開図

### 2-1 出幅方向

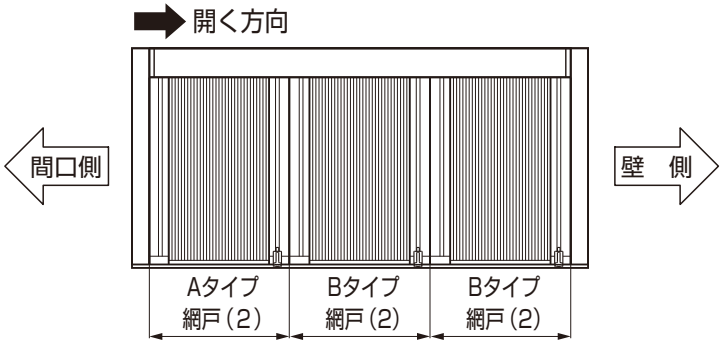
(1) 6尺




(2) 8尺

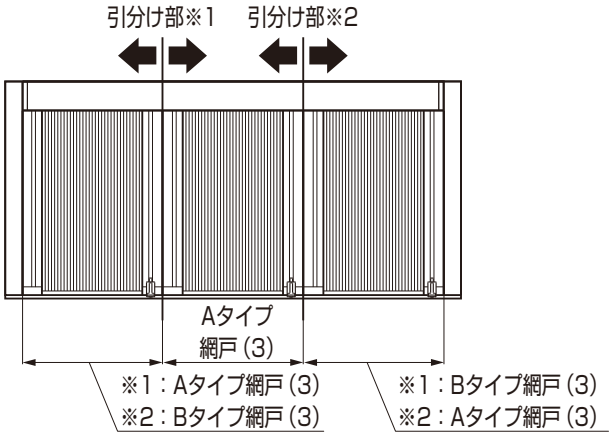



(3) 10尺

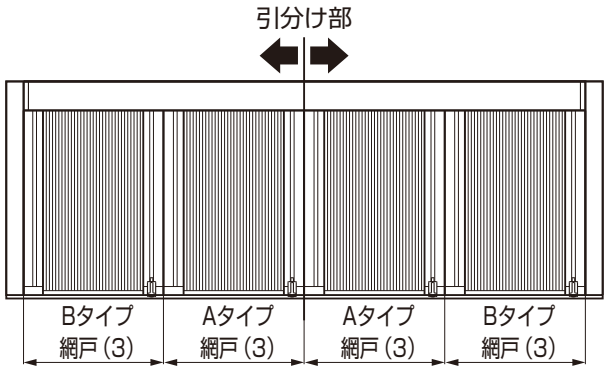



### 2-2 間口方向

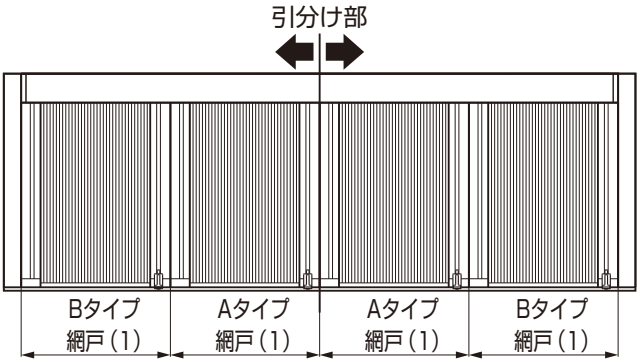
(1) 基本タイプ 1.5間




(2) 基本タイプ 2.0間




(3) 基本タイプ 2.5間




**ポイント**

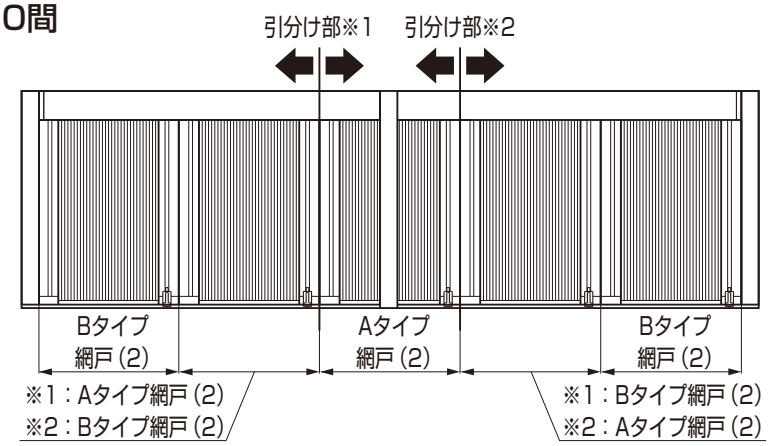
●1.5間、3.0間の場合、網戸ユニット数が奇数となり、引分け部の右と左とで網戸の枚数が異なります。（※1、※2）

E320_201101A

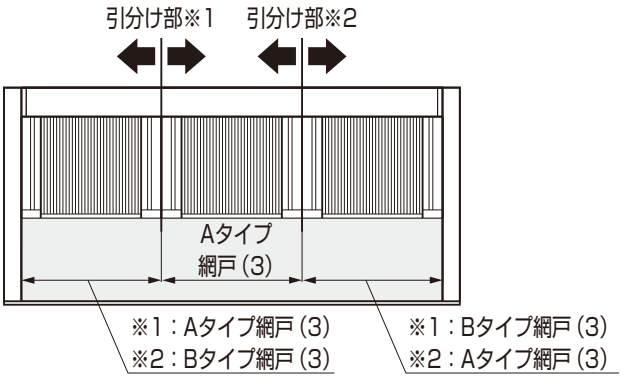
# 2.（つづき）

## 2-2　つづき

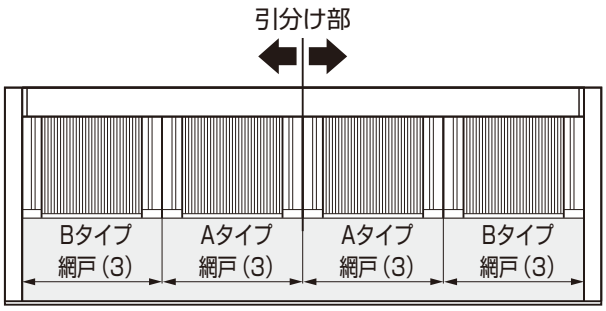
### (4) 基本タイプ 3.0間



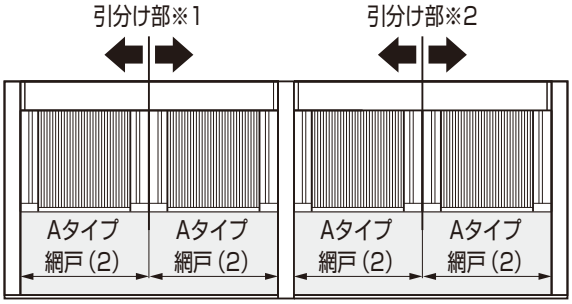

### (5) 腰壁タイプ 1.5間



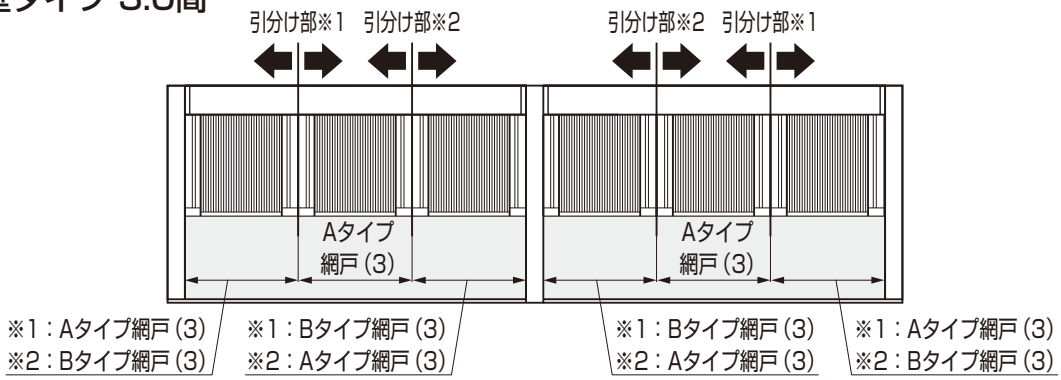

### (6) 腰壁タイプ 2.0間




### (7) 腰壁タイプ 2.5間




### (8) 腰壁タイプ 3.0間




**ポイント**

●1.5間、3.0間の場合、網戸ユニット数が奇数となり、引分け部の右と左とで網戸の枚数が異なります。（※1、※2）

# 3. 取付け前の確認

図記号

：戸当り枠
：吊元枠
：アンカープレート

## 3-1 標準納まり

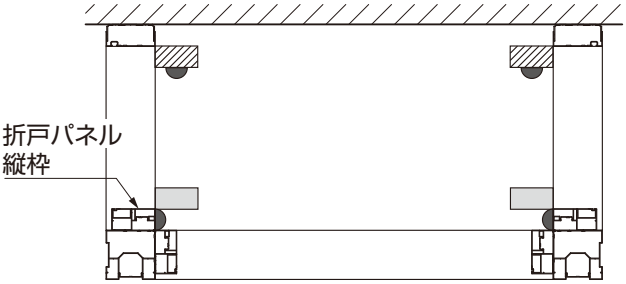



図3-1　1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

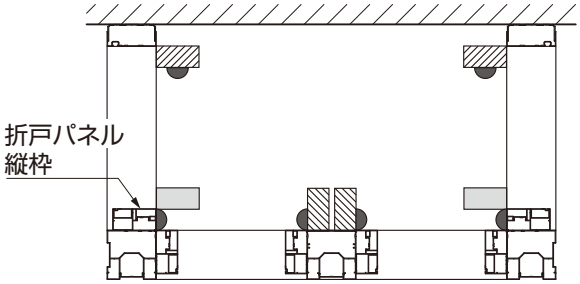



図3-2　2.5間以上 腰壁タイプ
連棟タイプ

①タイプにより戸当り枠、吊元枠の取付場所が異なります。図3-1、図3-2で確認してください。

## 3-2 入隅納まり

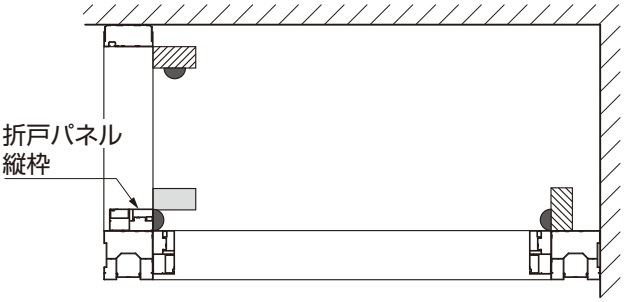



図3-3　1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

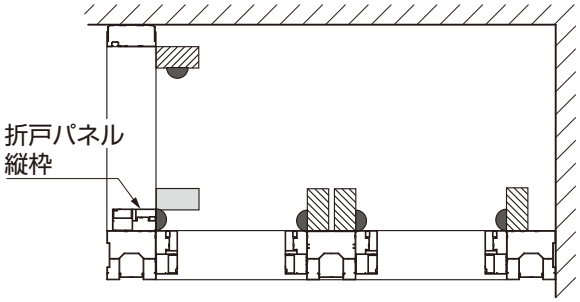



図3-4　2.5間以上 腰壁タイプ

①タイプにより戸当り枠、吊元枠の取付場所が異なります。図3-3、図3-4で確認してください。

## 3-3 使用部材の確認

表3-1　タイプ別部材一覧

| タイプ | | 部材 |
|---|---|---|
| 6尺（基本・腰壁） | | L18 |
| 8尺（基本・腰壁） | | L25 |
| 10尺（基本・腰壁） | | L34 |
| 1.5間（基本・腰壁） | | L25 |
| 2.0間（基本・腰壁） | | L34 |
| 2.5間 | 基本 | L18+L25 |
| | 腰壁 | L25、L25 |
| 3.0間 | 基本 | L18+L34 |
| | 腰壁 | L25、L25 |

補 足

●各開口部ごとに上記の呼称の部材を使用してください。

# 4. 吊元枠、戸当り枠の取付け

## 4-1　H寸法の測定

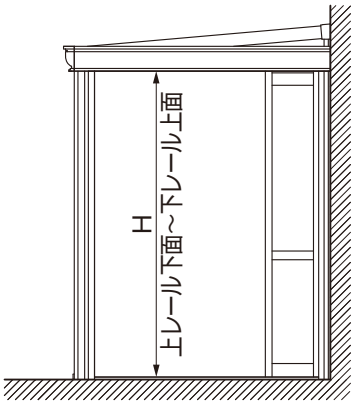



表4-1　上下レール間標準寸法

| 呼称 | 標準寸法 |
|---|---|
| H21 | 2062 |
| H23 | 2262 |
| H25 | 2462 |

①上レール下面～下レール上面寸法Hを測定してください。

## 4-2　部材の加工

### （1）吊元枠の加工

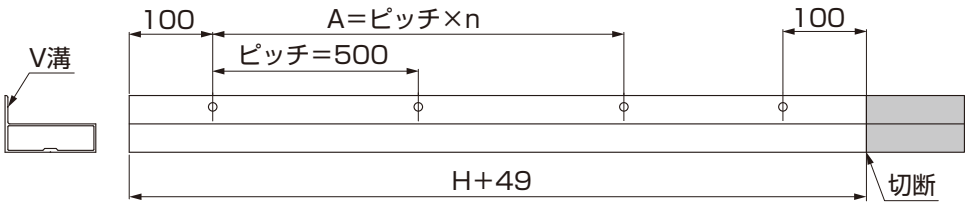



表4-2　穴加工寸法

| 呼称 | n | A |
|---|---|---|
| H21 | 3 | 1500 |
| H23 | 4 | 2000 |
| H25 | 4 | 2000 |

①Hが表4-1の標準寸法より4mm以上短い場合、吊元枠をH＋49mmになるように切断してください。
②吊元枠のV溝の位置に穴加工をしてください。

**補 足**

●測定値Hが表X-Xの標準寸法より長い場合は切断は不要です。

### （2）戸当り枠取付材の加工

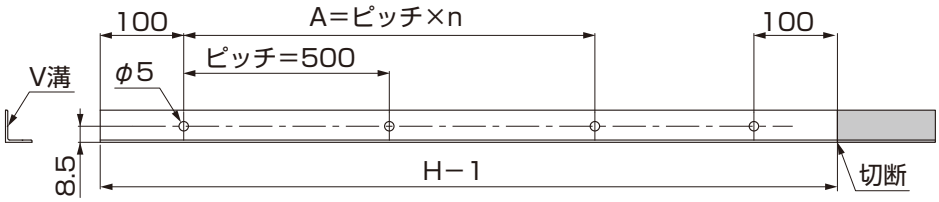



表4-3　穴加工寸法

| 呼称 | n | A |
|---|---|---|
| H21 | 3 | 1500 |
| H23 | 3 | 1500 |
| H25 | 4 | 2000 |

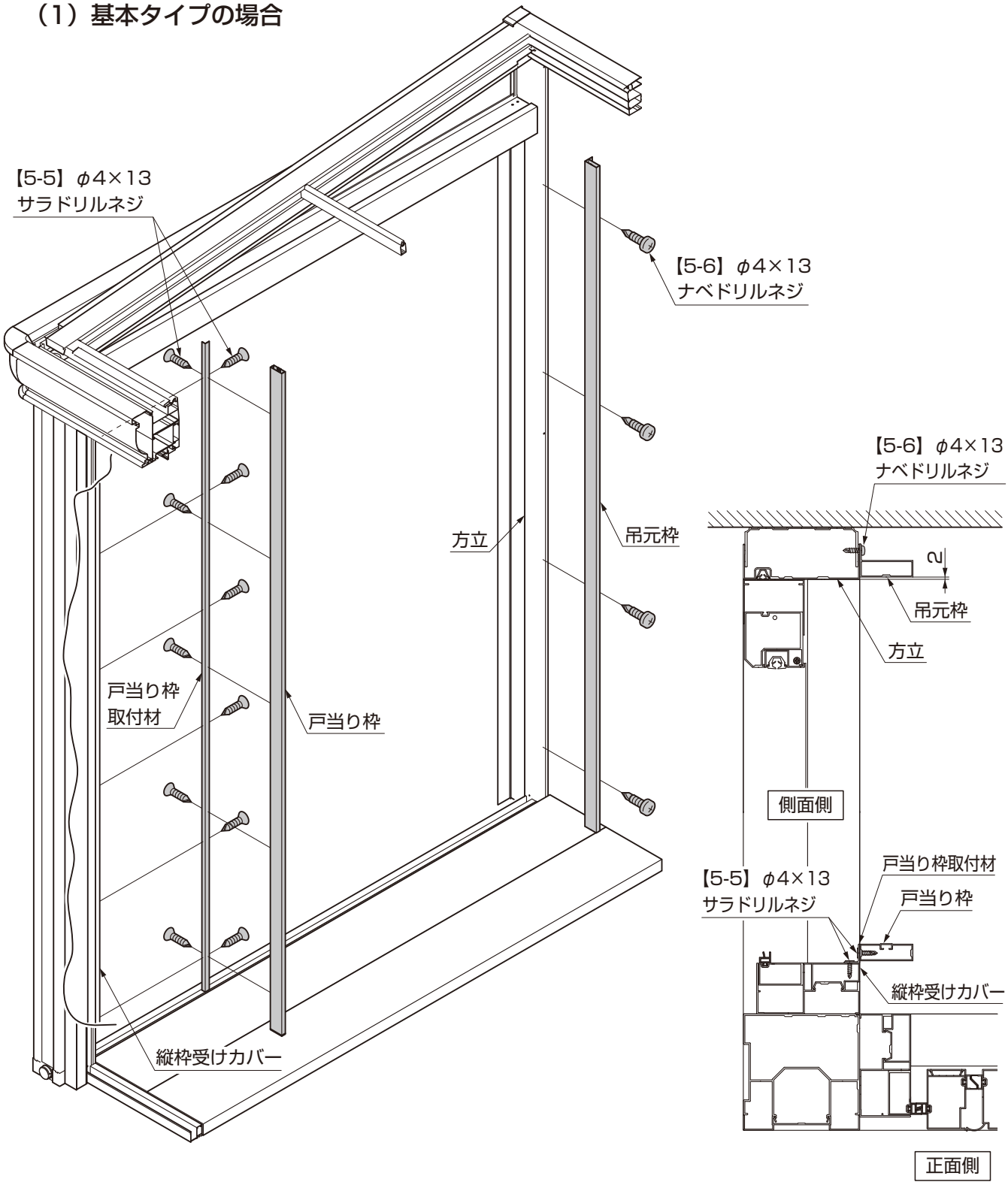
①Hが表4-1の標準寸法より4mm以上短い場合、戸当り枠取付材をH－1mmになるように切断してください。
②戸当り枠取付材のV溝の位置に穴加工をしてください。

**補 足**

●H－1が戸当り枠取付材より長い場合は切断は不要です。

## 4-3 吊元枠、戸当り枠の取付け

### （1）基本タイプの場合




①戸当り枠取付材を側面側の縦枠受けカバーに【5-5】で取付けてください。
②戸当り枠を戸当り枠取付材に【5-5】で取付けてください。
③吊元枠を方立に【5-6】で取付けてください。

E320_201101A

# 4.（つづき）

## 4-3 つづき

### （2）腰壁タイプの場合

【5-5】φ4×13
サラドリルネジ

【5-6】φ4×13
ナベドリルネジ

方立

吊元枠

戸当り枠
取付材

戸当り枠

縦枠受けカバー

【5-5】φ4×13
サラドリルネジ

戸当り枠取付材

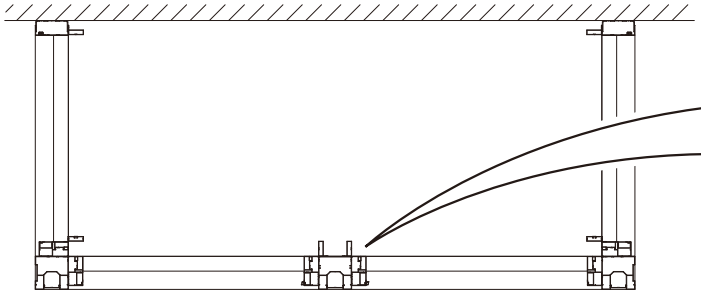
縦枠受けカバー

戸当り枠

笠木

図4-1　前面腰壁タイプ

### （3）2.5間以上の腰壁タイプの場合
### 連棟タイプの場合



吊元枠と中間柱・連棟柱を面合わせ

【5-6】φ4×13
ナベドリルネジ

吊元枠

46

46

中間柱または連棟柱

①吊元枠を中間柱または連棟柱に【5-6】で取付けてください。

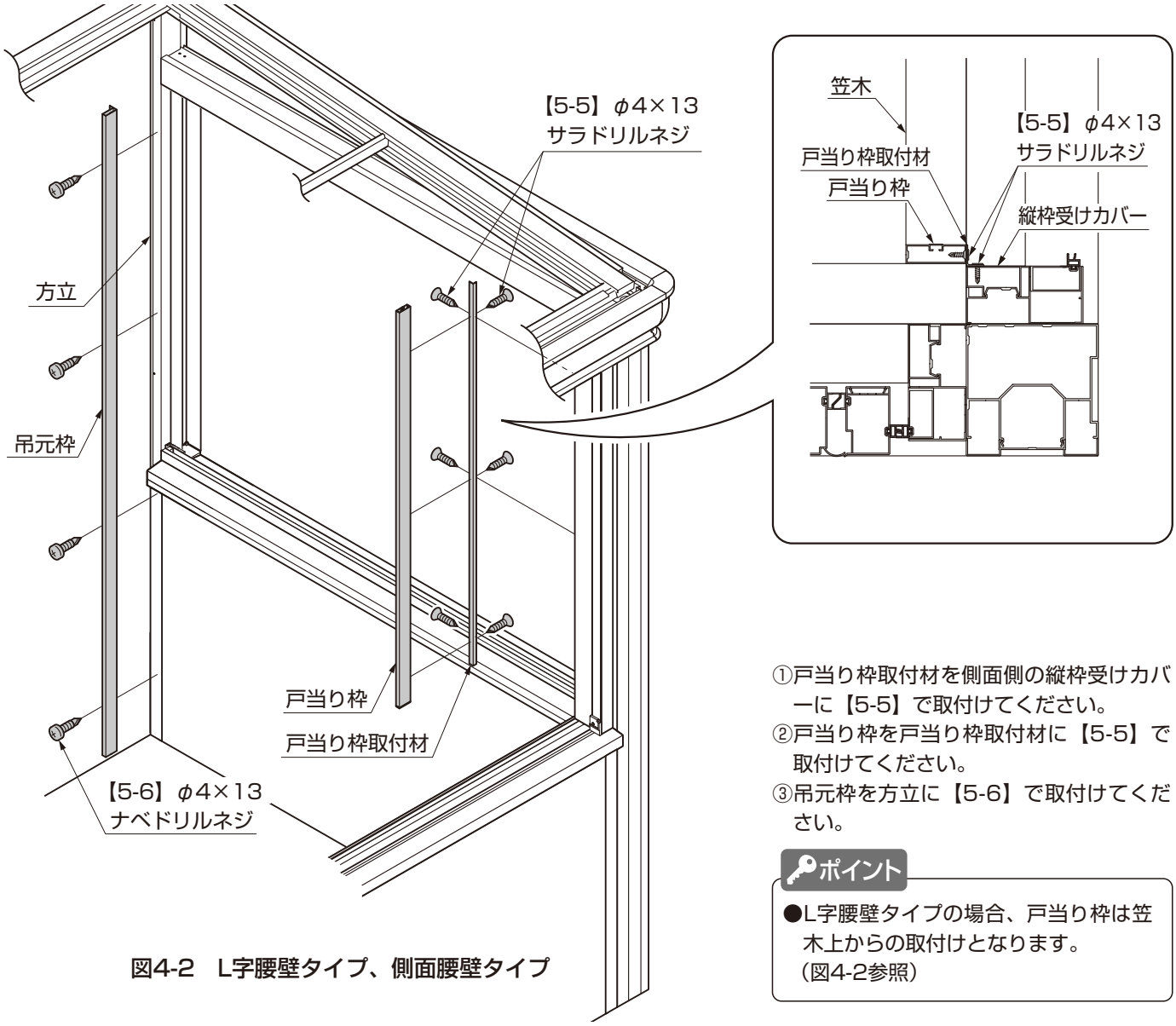


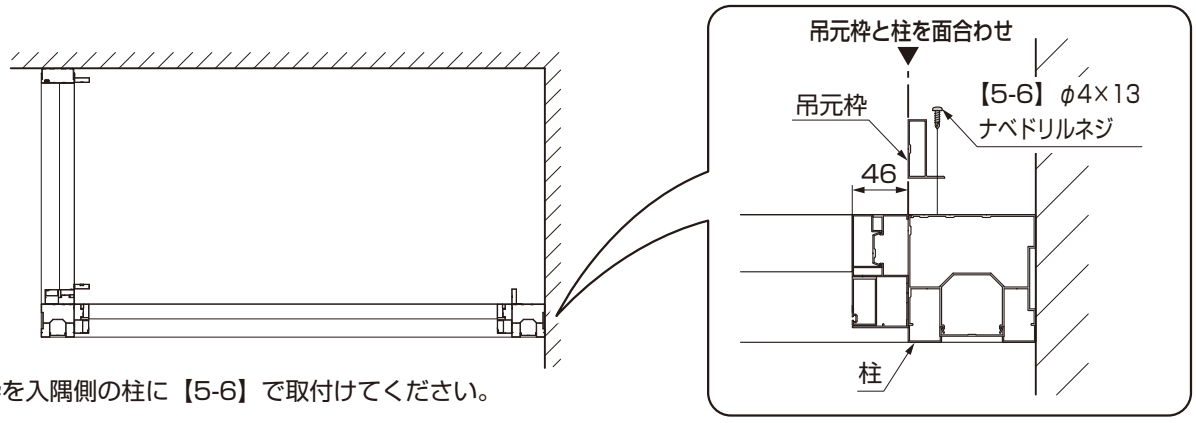

図4-2　L字腰壁タイプ、側面腰壁タイプ

①戸当り枠取付材を側面側の縦枠受けカバーに【5-5】で取付けてください。
②戸当り枠を戸当り枠取付材に【5-5】で取付けてください。
③吊元枠を方立に【5-6】で取付けてください。

**ポイント**

●L字腰壁タイプの場合、戸当り枠は笠木上からの取付けとなります。
（図4-2参照）

## （4）入隅納まりの場合




①吊元枠を入隅側の柱に【5-6】で取付けてください。

# 5. 上枠取付材の取付け

## 5-1　上枠取付材の加工

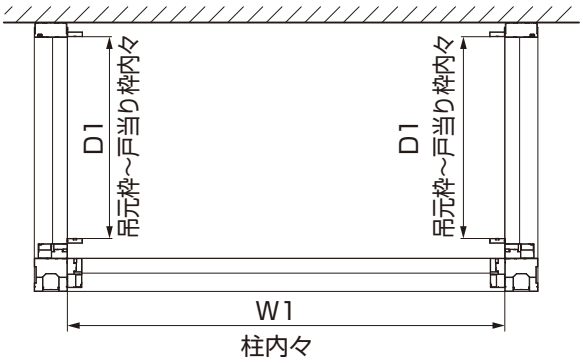



図5-1　標準納まり
1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

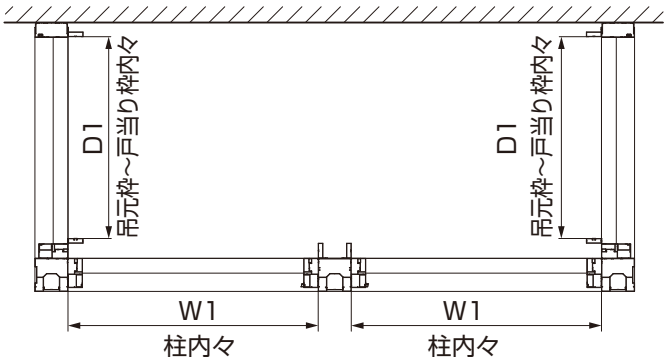



図5-2　標準納まり
2.5間以上 腰壁タイプ
連棟タイプ

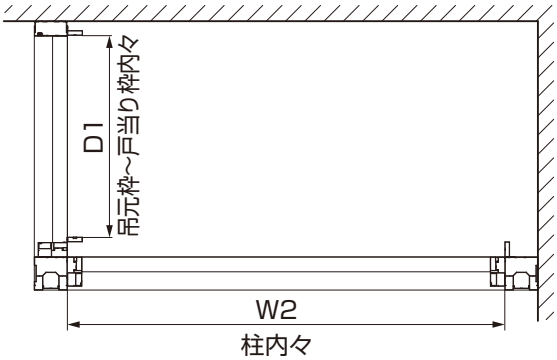



図5-3　入隅納まり
1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

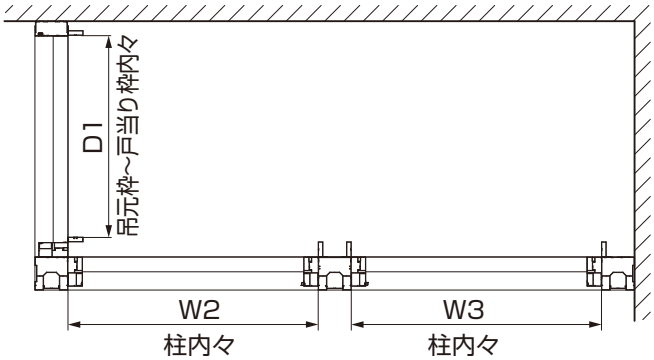



図5-4　入隅納まり
2.5間以上 腰壁タイプ
連棟タイプ

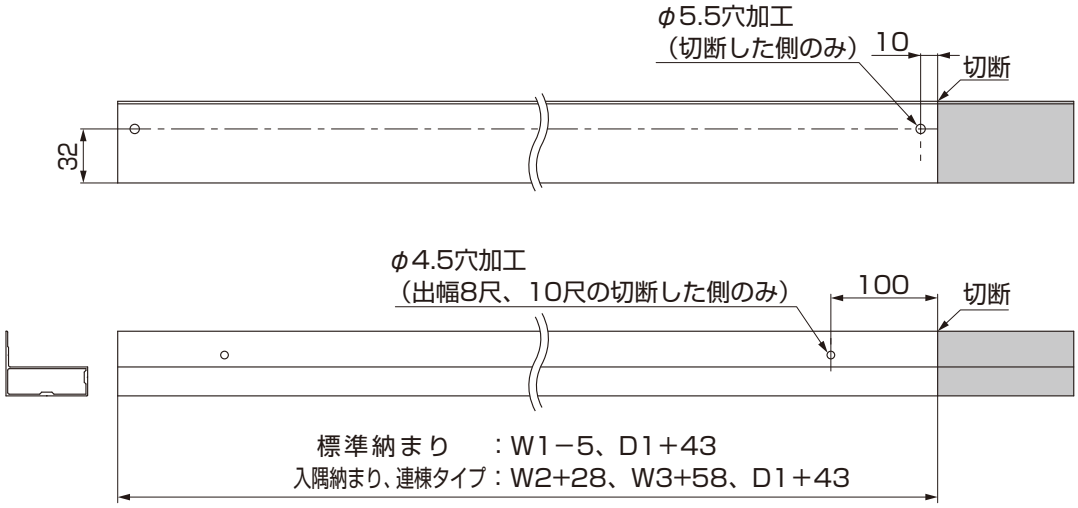



図5-5　部材を1本使用する場合

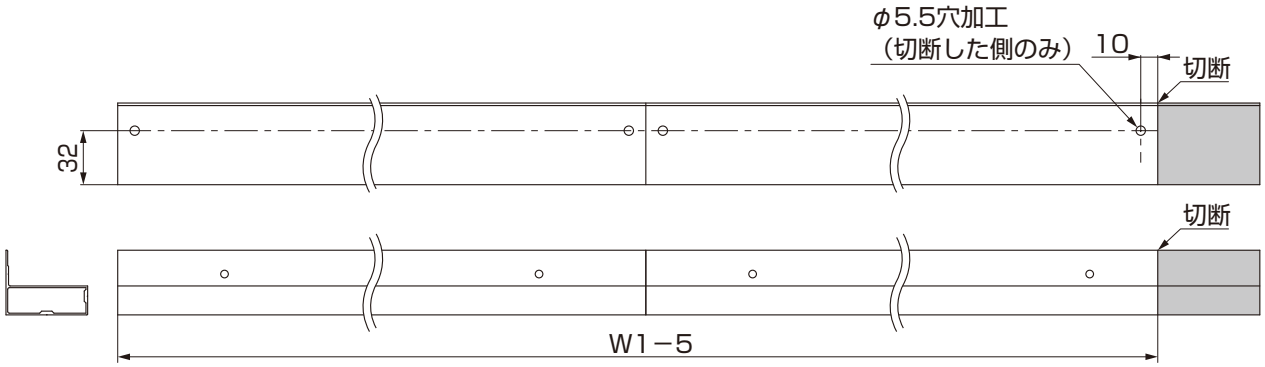



図5-6　部材を2本を使用する場合（基本タイプ 2.5間、3.0間）

①タイプに合わせて柱内々寸法W1、W2、W3を計測してください。（図5-1、図5-2、図5-3、図5-4参照）
②正面側の上枠取付材を標準納まりの場合（W1－5）mm、入隅納まり、連棟タイプの場合（W2+28）mm、（W3+58）mmで切断してください。（図5-5参照）

**補 足**

●基本タイプ 2.5間、3.0間の場合、（W1－5）mmは2本での合計となります。（図5-6参照）

③吊元枠～戸当り枠内々寸法D1を計測してください。（図5-1、図5-2、図5-3、図5-4参照）
④側面側の上枠取付材を（D1＋43）mmで切断してください。（図5-5参照）
⑤切断した側にφ5.5およびφ4.5の穴加工をしてください。（図5-5、図5-6参照）

# 5.（つづき）

## 5-2　上枠取付材の組立て

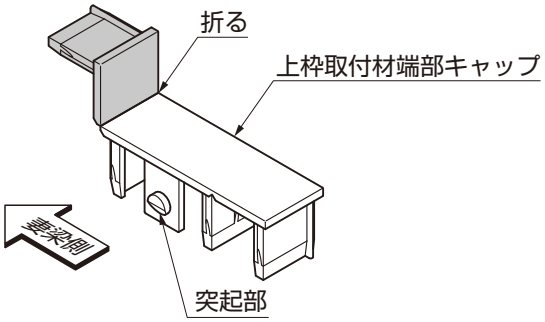



図5-7

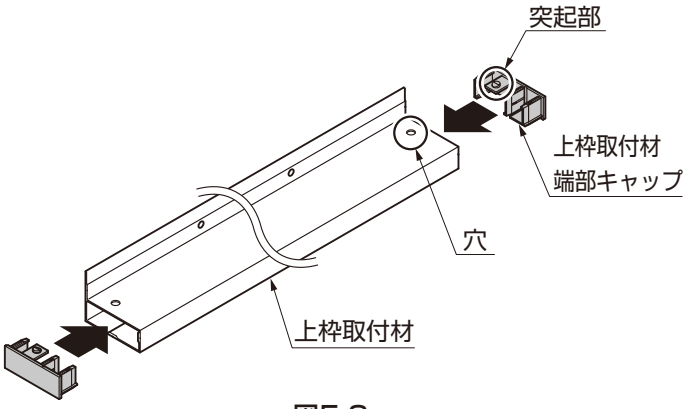



図5-8

①上枠取付材端部キャップの片側を折ってください。（図5-7参照）

**ポイント**

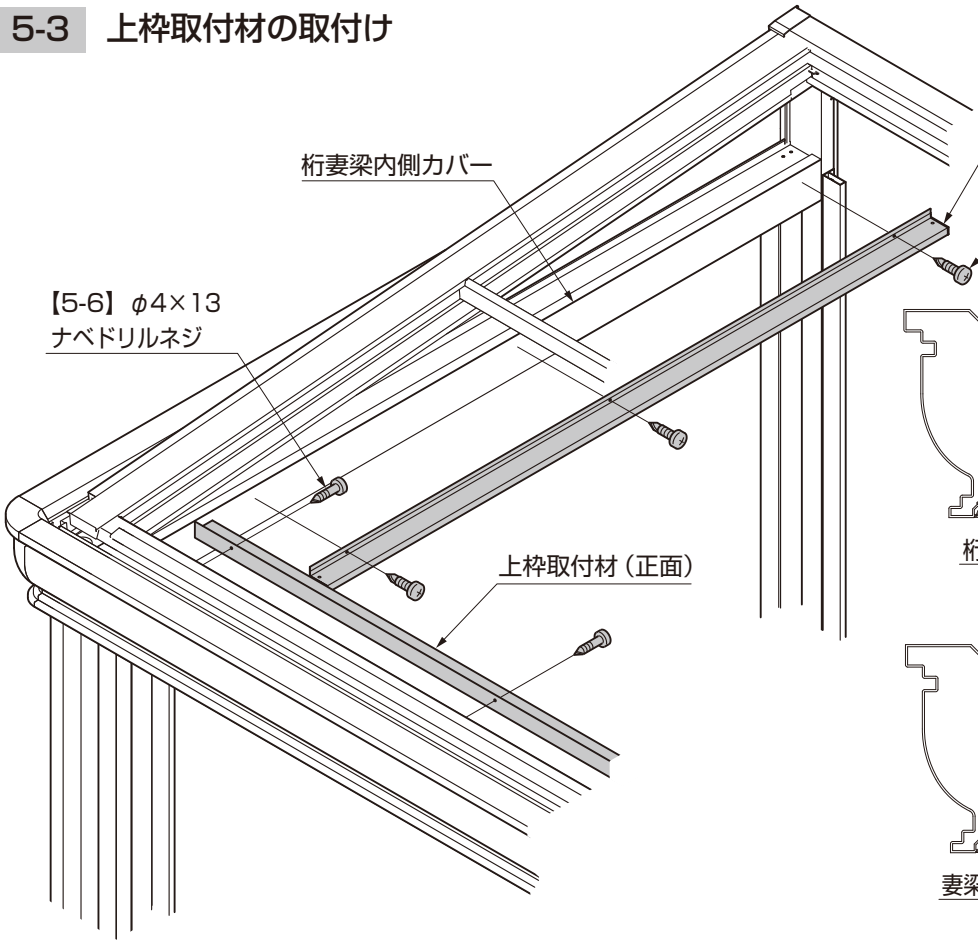
●キャップ加工の際は、折る側を間違えないようにご注意ください。折る側を誤ると、上枠取付材の穴に上枠端部キャップの突起部がはまらず、組付けができなくなります。

②上枠取付材端部キャップを突起部が上枠取付材の端部の穴にはまるように取付けてください。（図5-8参照）

**補 足**

●上枠取付材を2本使用する場合、連結側には上枠取付材端部キャップは取付けないでください。

## 5-3　上枠取付材の取付け



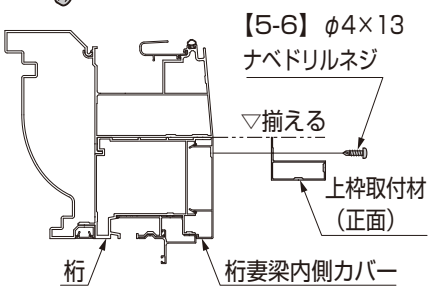




図5-9　正面側

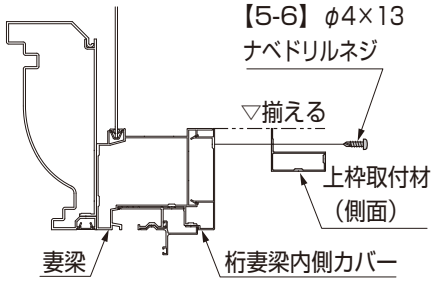



図5-10　側面側

①正面側の上枠取付材を上端が桁妻梁内側カバーの上端と揃うように【5-6】で取付けてください。
②側面側の上枠取付材を戸当り枠、吊元枠に乗せ、正面側の上枠取付材に突き当たるように【5-6】で取付けてください。

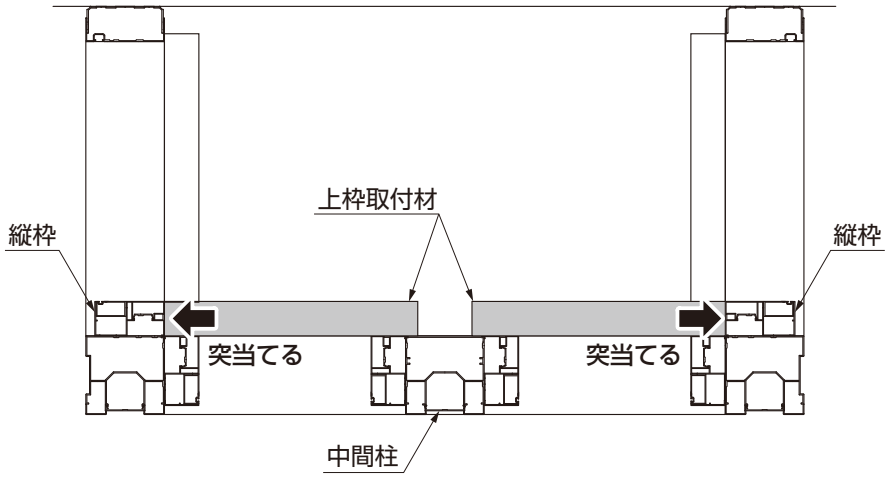



図5-11

**ポイント**

●2.5間以上の腰壁タイプ、連棟、入隅の場合は上枠取付材の端部を本体側面側の縦枠に突当てて取付けてください。

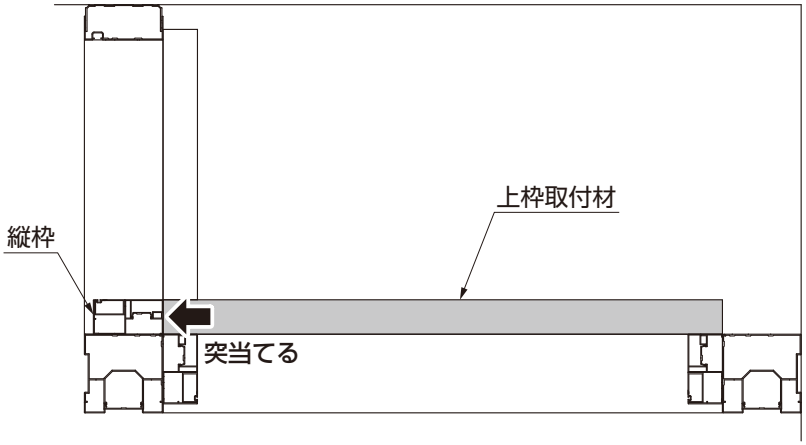



図5-12

# 6. 上枠の取付け

## 6-1 上枠の加工 ※標準納まりと入隅納まりは同様に加工してください。

### （1）切断と穴加工

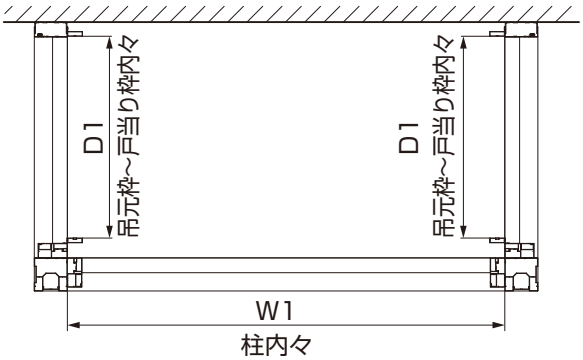



図6-1　1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

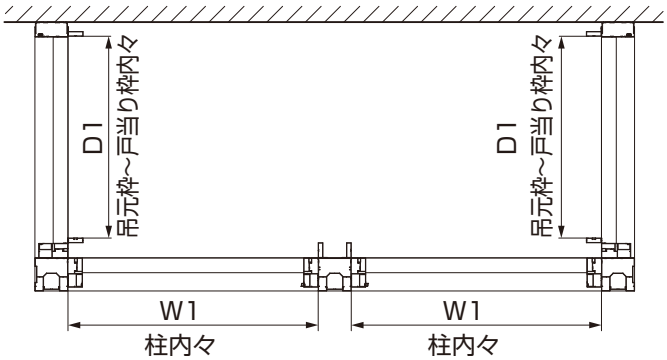



図6-2　2.5間以上 腰壁タイプ
連棟タイプ

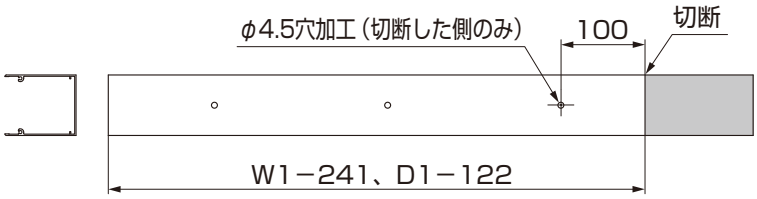



図6-3　部材を1本使用する場合

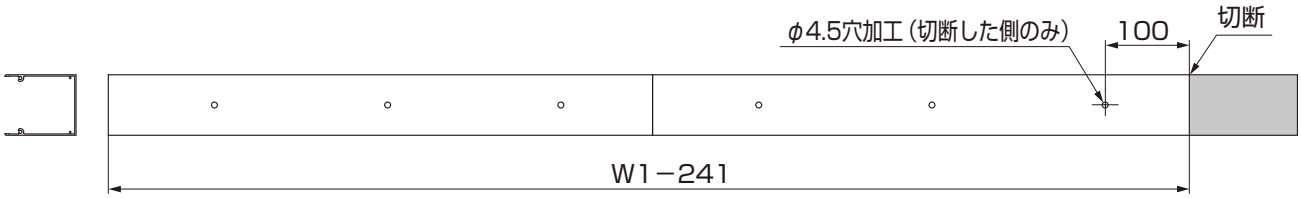



図6-4　部材を2本を直結して使用する場合（基本タイプ 2.5間、3.0間）

①タイプに合わせて柱内々寸法W1を計測してください。（図6-1、図6-2参照）
②正面側の上枠を（W1－241）mmで切断してください。（図6-3参照）

**ポイント**

●入隅納まりも同じ寸法で切断してください。

**補 足**

●基本タイプ 2.5間、3.0間の場合、（W1－241）mmは2本での合計となります。（図6-4参照）

③吊元枠～戸当り枠内々寸法D1を計測してください。（図6-1、図6-2参照）
④側面側の上枠取付材を（D1－122）mmで切断してください。（図6-3、図6-4参照）

## （2）網戸ストッパー取付用 穴加工　※正面側の上枠のみの作業です。

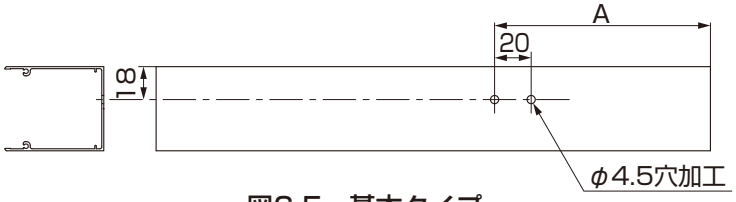



図6-5　基本タイプ

表6-1　基本タイプ

| 呼称 | A |
|---|---|
| 1.5間 | 744 |
| 2.0間 | 1636 |
| 2.5間 | 2091 |
| 3.0間 | 2011 |

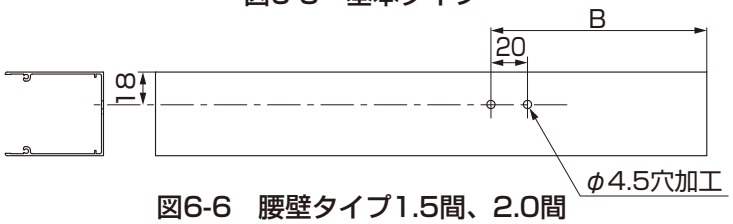



図6-6　腰壁タイプ1.5間、2.0間

表6-2　腰壁タイプ

| 呼称 | B |
|---|---|
| 1.5間 | 744 |
| 2.0間 | 1636 |
| 2.5間 | 953 |
| 3.0間 | 744 |

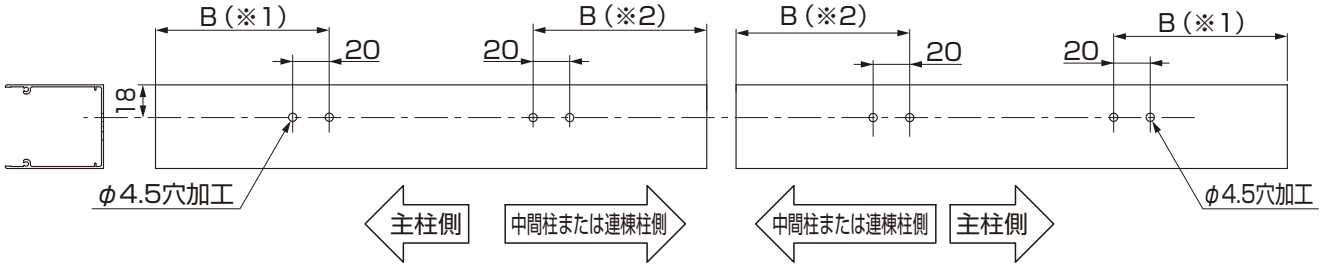


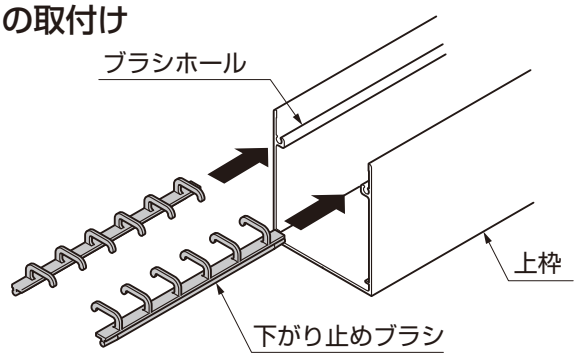

図6-7　腰壁タイプ2.5間、3.0間
連棟タイプ

①間口に取付ける上枠に網戸ストッパー取付用の穴加工をしてください。

**ポイント**

●基本タイプ1.5間、3.0間 / 腰壁タイプ1.5間の場合
・網戸引き分け部をあらかじめ外観右寄りか左寄りに決定してください。
・図表は網戸引分け部を外観右寄りに設定した場合を示します。外観左寄りに設定した場合は部材を左右反転してください。
●腰壁タイプ3.0間の場合
・網戸引き分け部をあらかじめ外寄りか中央寄りに決定してください。
・図表は網戸引分け部を主柱寄りに設定した場合を示します（※1）。中間柱寄りに設定した場合は左右対称に加工してください（※2）。

## 6-2　下がり止めブラシの取付け




①下がり止めブラシを上枠のブラシホールに挿入してください。

**補 足**

●下がり止めブラシは両側のブラシホールに同数挿入してください。

# 6.（つづき）

## 6-2 つづき

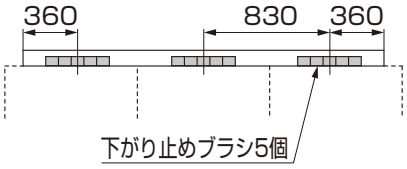



図6-8　基本・腰壁 1.5間

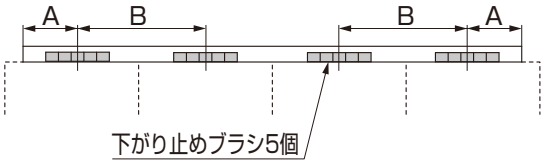



図6-9　基本 2.0間、2.5間 / 腰壁 2.0間

表6-3

| 呼称 | A | B |
|---|---|---|
| 基本・腰壁 2.0間 | 360 | 845 |
| 基本 2.5間 | 435 | 1110 |

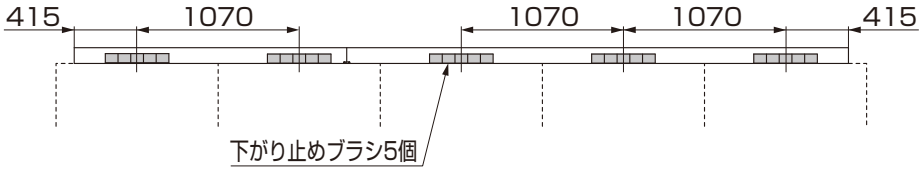



図6-10　基本 3.0間

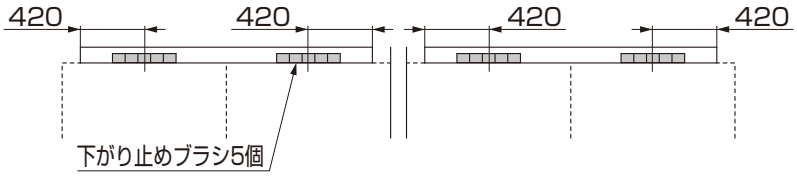



図6-11　腰壁 2.5間

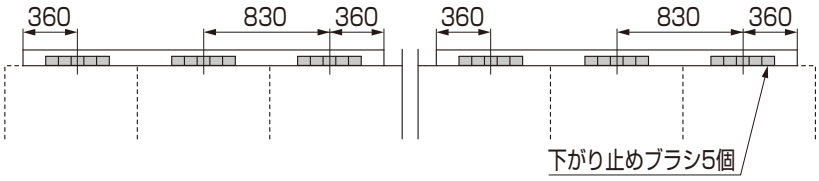



図6-12　腰壁 3.0間

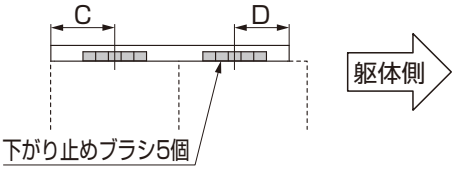



図6-13　6尺・8尺

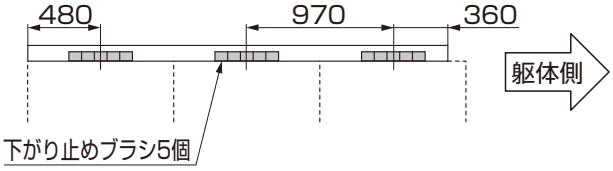



図6-14　10尺

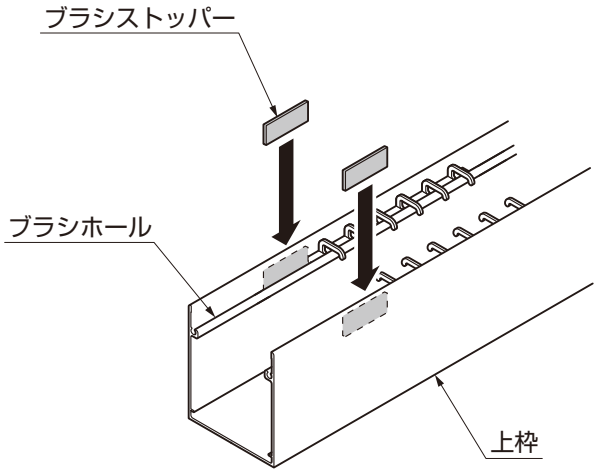
表6-4

| 呼称 | C | D |
|---|---|---|
| 6尺 | 420 | 360 |
| 8尺 | 570 | 455 |

②下がり止めブラシを所定の位置に配置してください。

**ポイント**

- 下がり止めブラシは上枠両端部から150mm以内には取付けないでください。
- 上枠を連結する仕様で下がり止めブラシの位置決めがしにくい場合は、上枠固定後に位置決めをすることもできます。




③ブラシストッパーのリケイ紙をはがし、下がり止めブラシが動かないようブラシホールに差込み、上枠内側に貼付けてください。

## 6-3 上枠キャップの取付け

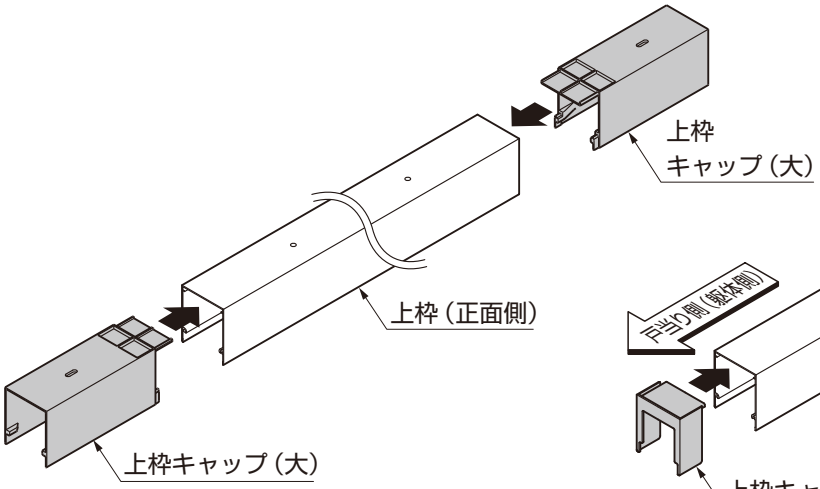



図6-15　正面側

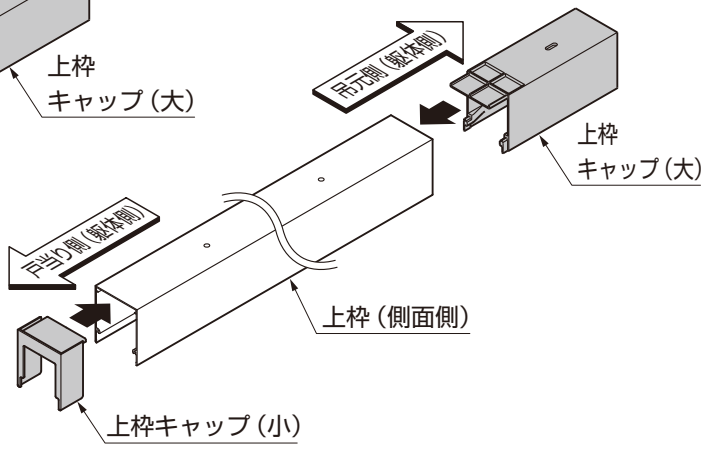



図6-16　側面側

①正面側の上枠の両端に上枠キャップ（大）をはめ込んでください。（図6-15参照）
②側面側の上枠の両端に上枠キャップ（大）と上枠キャップ（小）をそれぞれはめ込んでください。（図6-16参照）

**補 足**

●上枠を直結する場合、連結側には上枠キャップは取付けないでください。

# 6.（つづき）

## 6-4 上枠の取付け ※上枠は正面側、側面側の順に取付けてください。

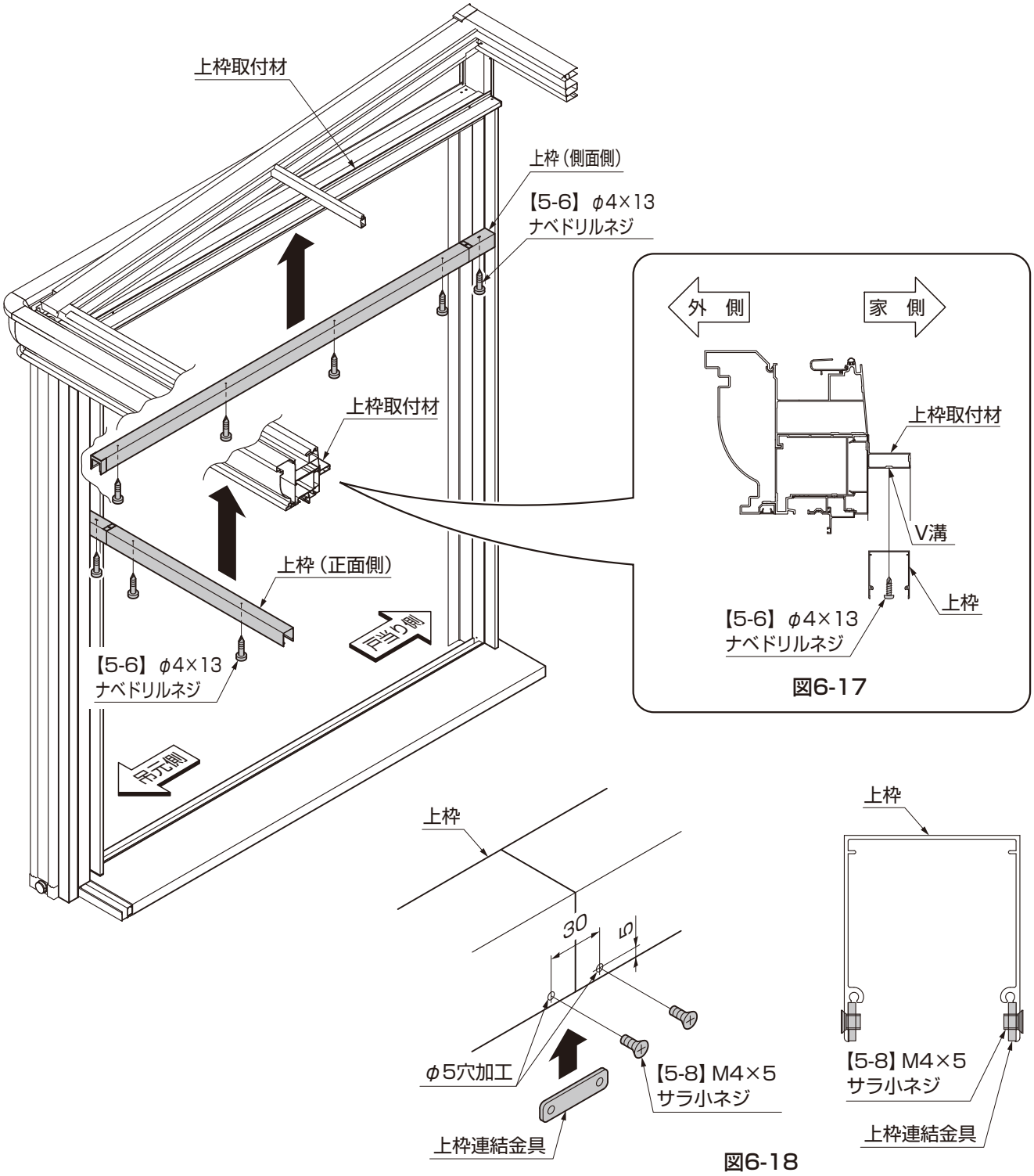



図6-17

図6-18

①上枠の穴の中心を上枠取付材のV溝に合わせて【5-6】で取付けてください。（図6-17参照）

**ポイント**

●上枠を2本連結する場合、連結部はすき間がないように取付けてください。

②上枠を2本連結する仕様では、上枠の連結部にφ5の穴加工をしてください。（図6-18参照）
③上枠を2本連結する仕様では、上枠に上枠連結金具を挿入し、【5-8】で取付けてください。（図6-18参照）

## 6-5 網戸ストッパーの取付け

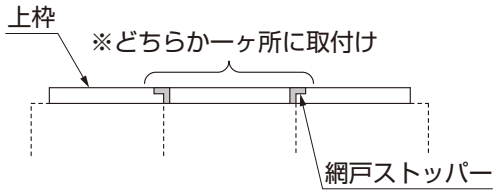



図6-19　基本1.5間 / 腰壁1.5間 取付位置

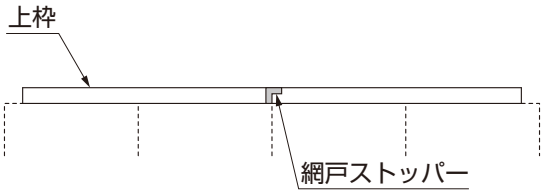



図6-20　基本2.0間、2.5間 / 腰壁2.0間 取付位置

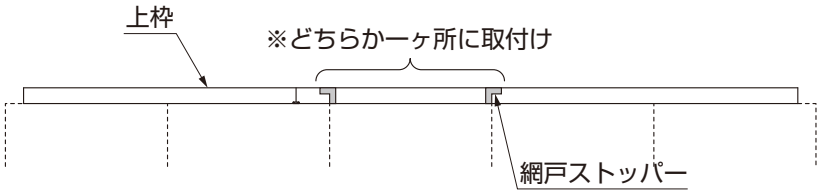



図6-21　基本3.0間 取付位置

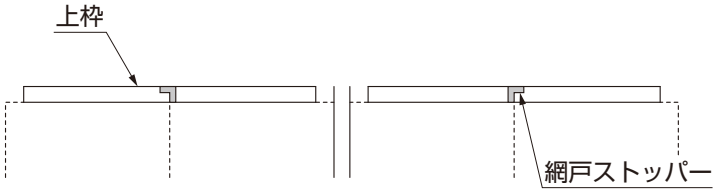



図6-22　腰壁2.5間 取付位置

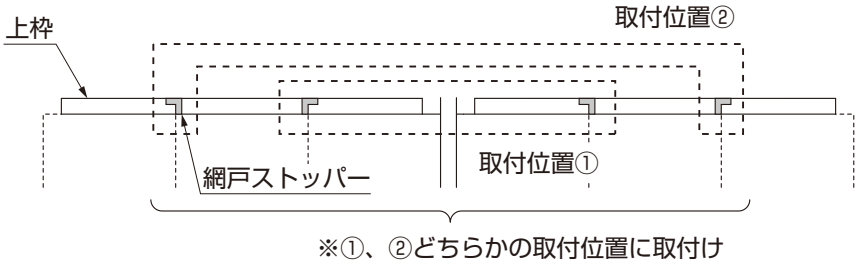



図6-23　腰壁3.0間 取付位置

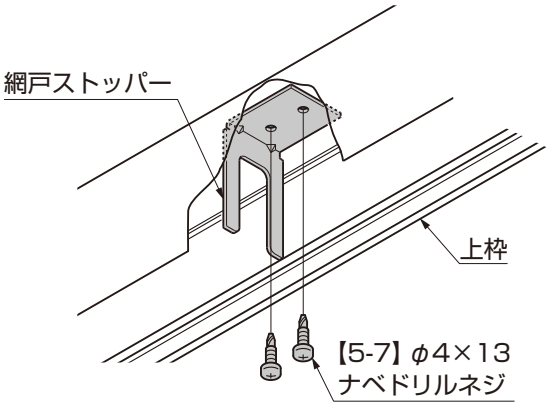



図6-24　網戸ストッパーの取付け

①網戸ストッパーの取付け位置を確認して、正面の上枠に【5-7】で取付けてください。

# 7. 下レールの取付け

## 7-1 下レールの加工 ※標準納まりと入隅納まりは同様に加工してください。

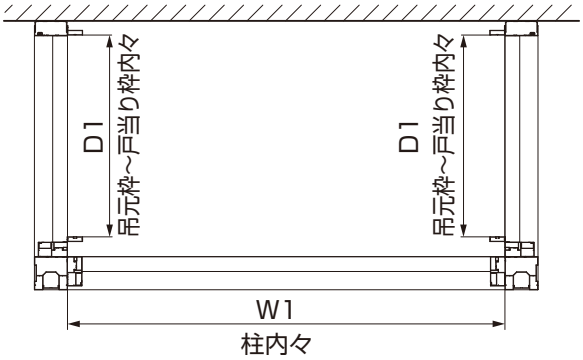



図7-1　1.5間～3.0間 基本タイプ
1.5間、2.0間 腰壁タイプ

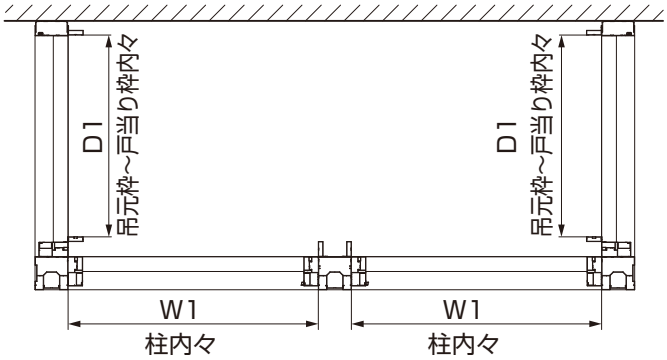



図7-2　2.5間以上 腰壁タイプ
連棟タイプ

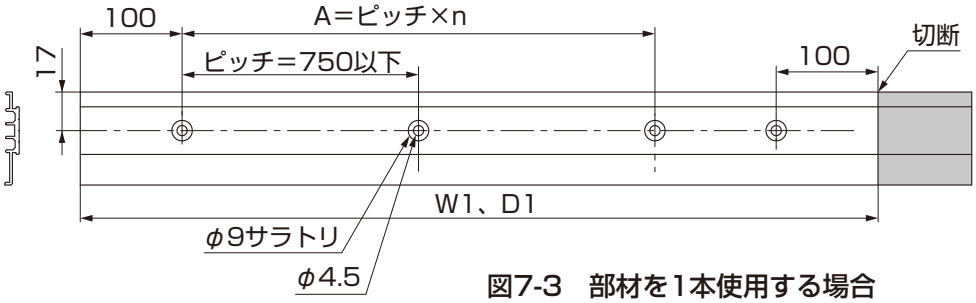



図7-3　部材を1本使用する場合

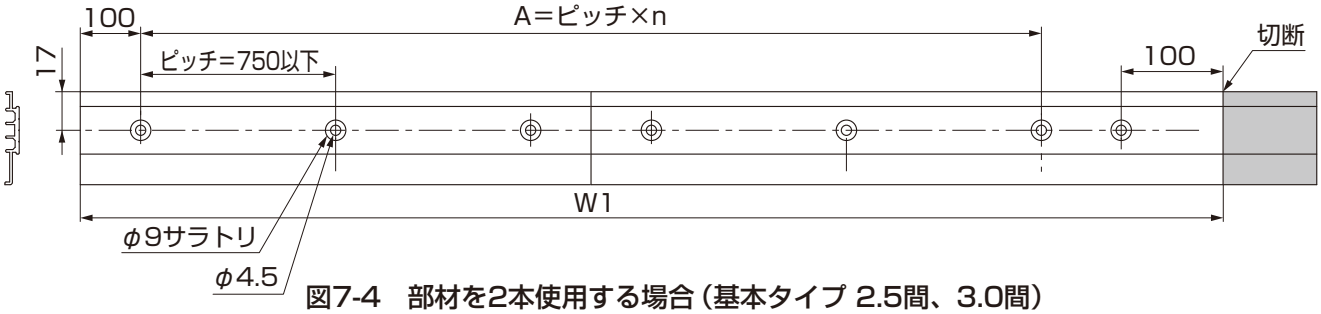



図7-4　部材を2本使用する場合（基本タイプ 2.5間、3.0間）

①タイプに合わせて柱内々寸法W1を計測してください。（図7-1、図7-2参照）
②正面側の下レールをW1で切断してください。（図7-3参照）

**ポイント**

●入隅納まりも同じ寸法で切断してください。

**補 足**

●基本タイプ 2.5間、3.0間の場合、W1は2本での合計となります。（図7-4参照）

③タイプに合わせて戸当り枠～吊元枠内々寸法D1を計測してください。（図7-1、図7-2参照）
④側面側の下レールをD1で切断してください。（図7-3参照）
⑤下レールに穴加工、サラトリをしてください。（図7-3、図7-4参照）

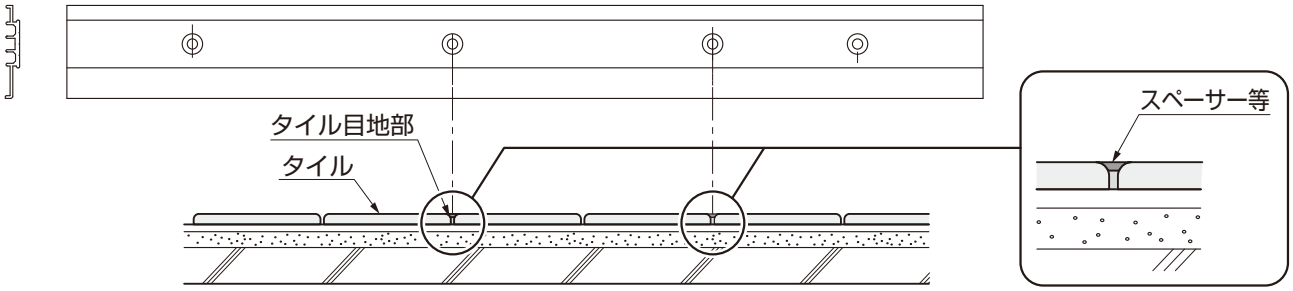
**ポイント**

●内面立上げがタイル仕様の場合は、タイルの破損を防ぐために固定位置に注意してください。

## 7-2 下レールの取付け ※下レールは正面側、側面側の順に取付けてください。

**ポイント**

●タイル仕様の場合、目地部分をネジ位置にする際は、目地とタイルの段差を必ずスペーサーなどで埋めてください。段差を残したままネジを取付けると、下レールが波打つおそれがあります。スペーサーは現場手配となります。



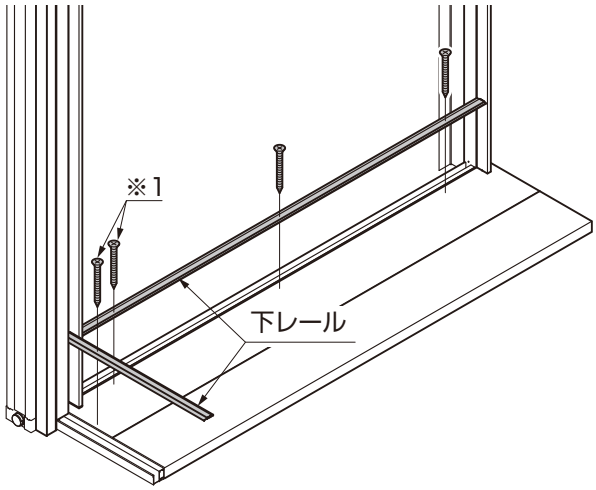




図7-5 デッキの場合

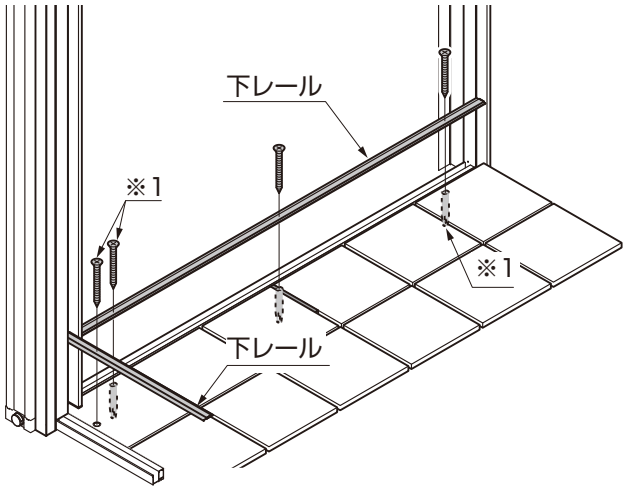



図7-6 タイルの場合

表7-1 下レール固定用ネジ一覧（※1）

| 固定先 | 下レール固定用ネジ | フィッシャープラグ |
|---|---|---|
| 土間、タイル用 | 【5-3】φ4×40サラタッピンネジ1種 | 【5-4】S6フィッシャープラグ |
| 樹ら楽ステージ用 | 【5-2】φ4×60サラタッピンネジ1種 | 不要 |
| 網戸下レール<br>スペーサーベース材用 | 【5-1】φ4×16サラドリルネジ | 不要 |

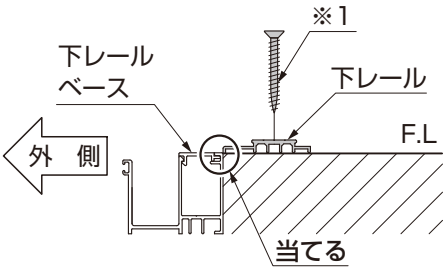



図7-7

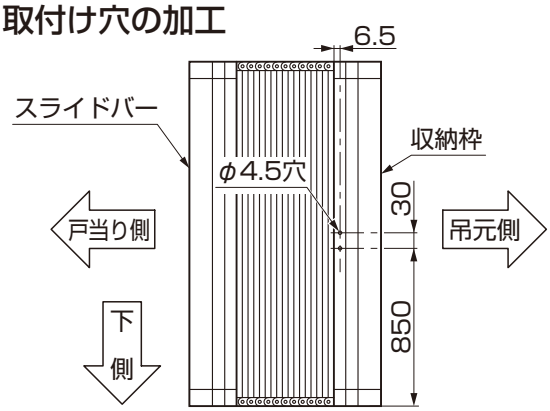
①正面側、側面側の下レールの室外側をパネルの下レールベースにそれぞれ当たるように固定してください。（図7-7参照）

**ポイント**

●デッキ施工の場合は、デッキ見切り材を取外してから下レールを取付けてください。タイル施工の場合は、タイルを破損しないよう慎重に下穴をあけてください。
●土間施工では【5-4】をあらかじめ取付けてから、【5-3】で取付けてください。
●吊り元枠のV溝と網戸下レールの真ん中のV溝がズレないように取付けてください。

# 8. パネル開き止めの取付け

## 8-1 取付け穴の加工



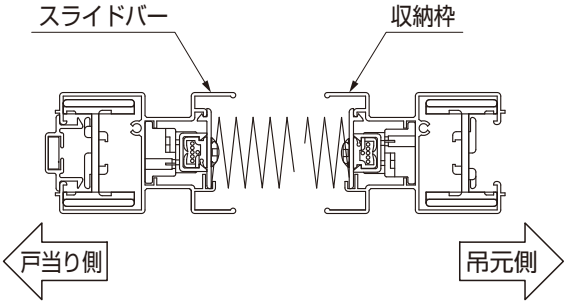




図8-1　網戸本体 内観図

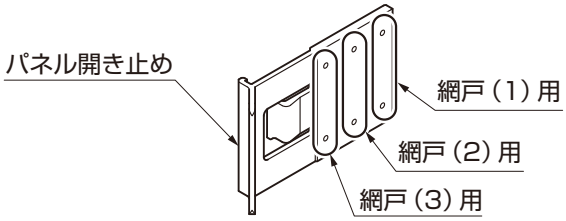
①網戸本体の収納枠の家側にφ4.5の穴加工をしてください。（図8-1参照）

**ポイント**

●収納枠への穴加工の際に、貫通したドリルの先が網戸に当たってキズ付けないように注意してください。

## 8-2 パネル開き止めの取付け

### （1）パネル開き止めの穴加工　※取付ける網戸の幅によって穴加工位置が異なります。

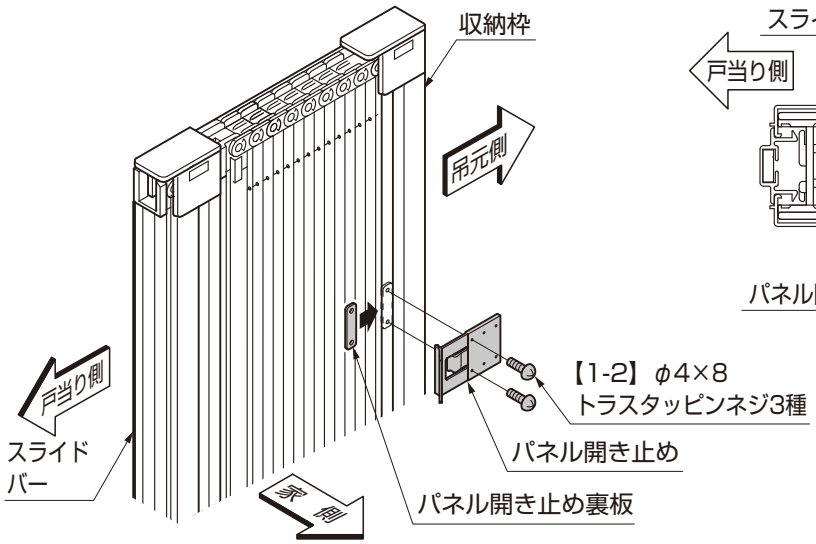



①取付ける網戸の種類に合わせて、パネル開き止めにφ4.5の穴加工をしてください。

**ポイント**

●網戸の幅によってたたみ幅も異なります。パネル開き止めのくぼみで固定位置を調整してください。

### （2）パネル開き止めの取付け



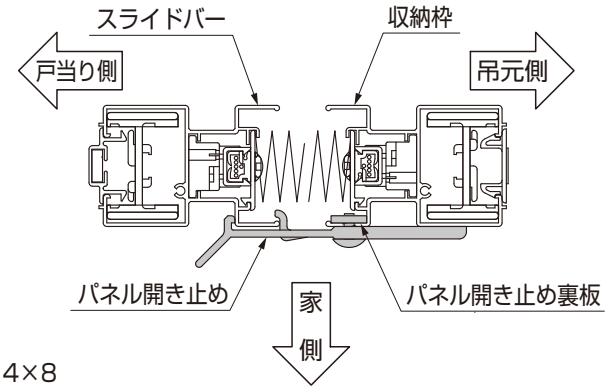



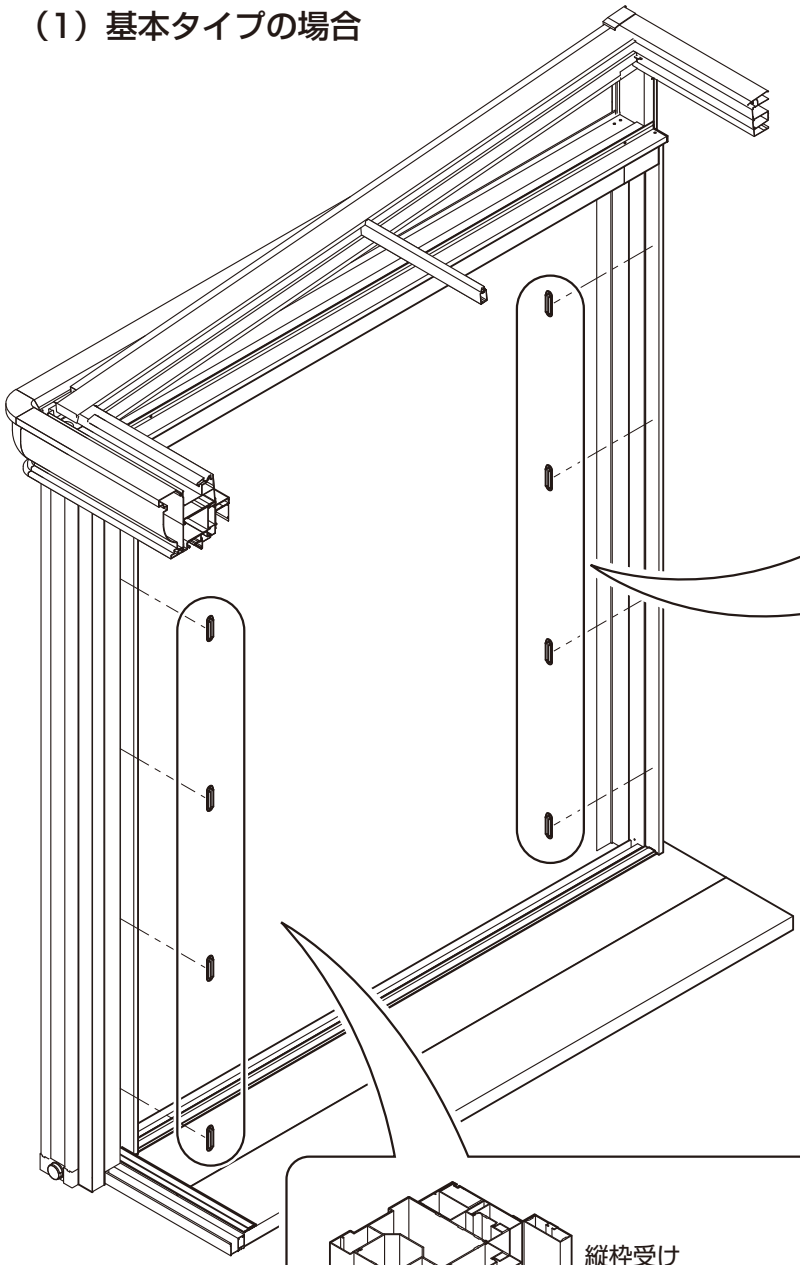

図8-2　網戸収納時

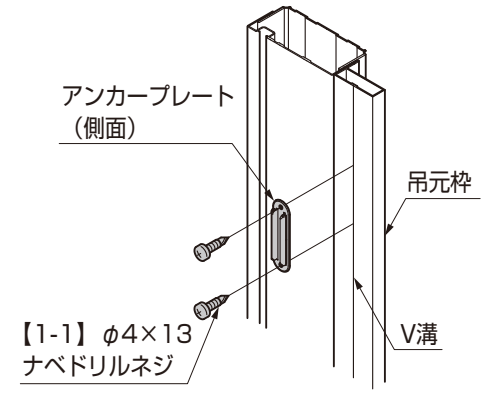
①吊元側の収納枠にパネル開き止め裏板を挿入し、パネル開き止めを【1-2】で取付けてください。

# 9. 網戸の建込み

## 9-1 アンカープレートの取付け

### （1）基本タイプの場合

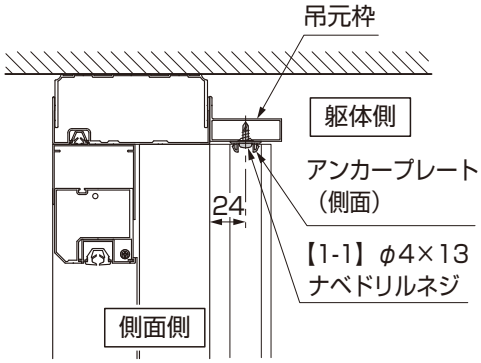


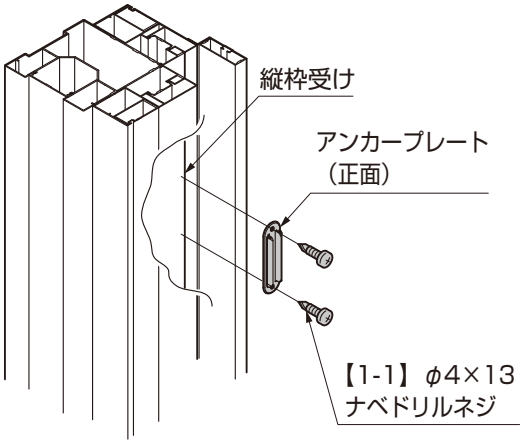


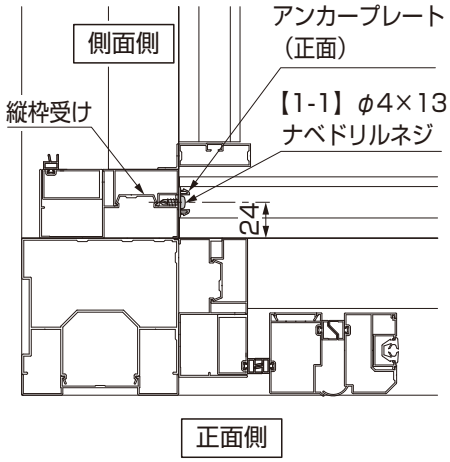

①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【1-1】で固定してください。

**ポイント**

●アンカープレートは必ず最後は手で止めてください。電動ドライバーなどで強く締めすぎたりするとアンカープレートが変形したり破損する恐れがあります。



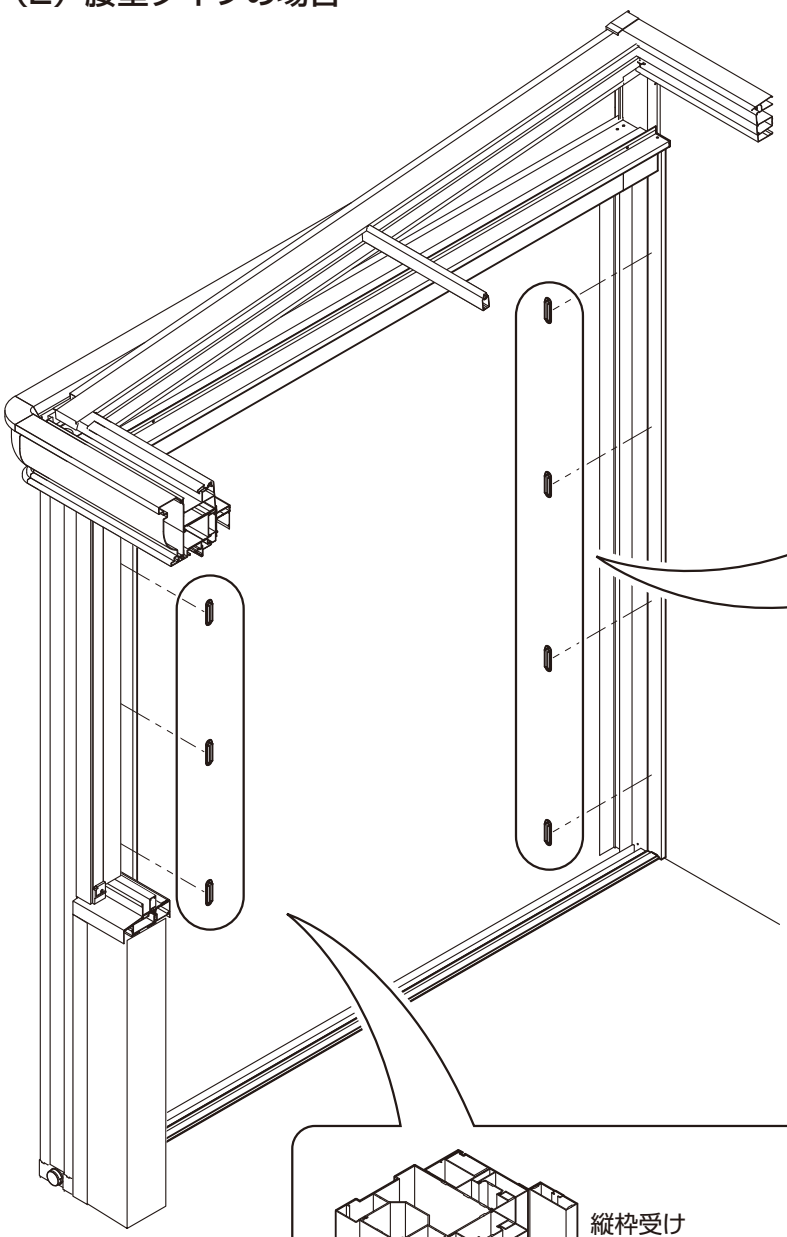

②アンカープレートのリケイ紙をはがし、戸当り側 本体側面の縦枠受けに【1-1】で取付けてください。

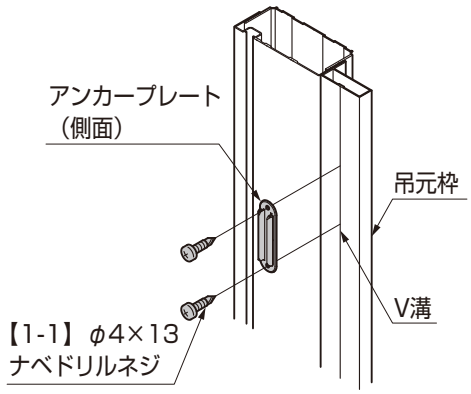
E320_201304D

# 9.（つづき）

## 9-1 つづき

### （2）腰壁タイプの場合

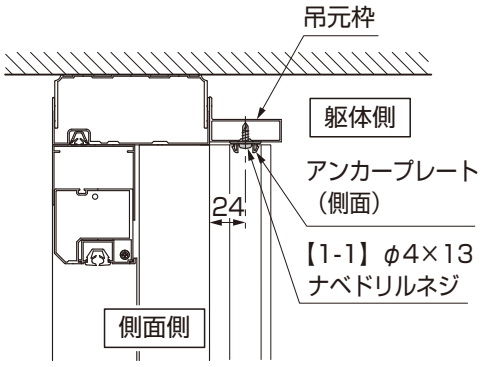


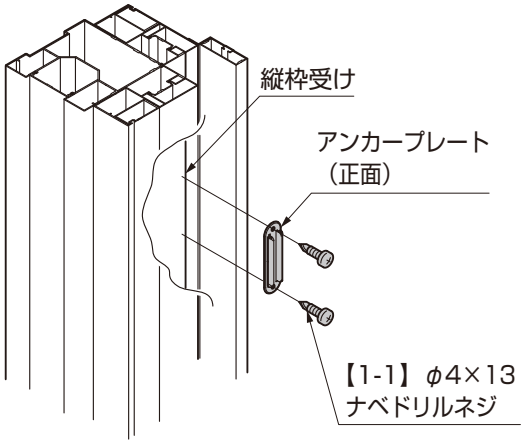


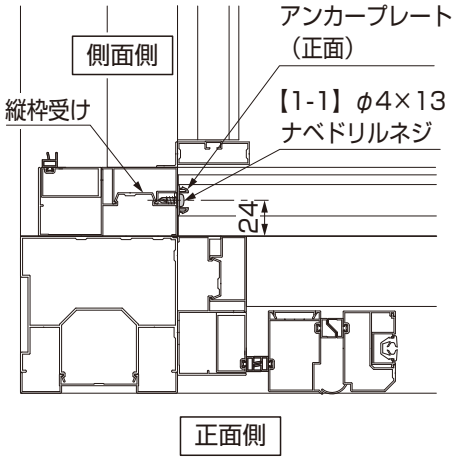

①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【X-X】で固定してください。

**ポイント**

●アンカープレートは必ず最後は手で止めてください。電動ドライバーなどで強く締めすぎたりするとアンカープレートが変形したり破損する恐れがあります。

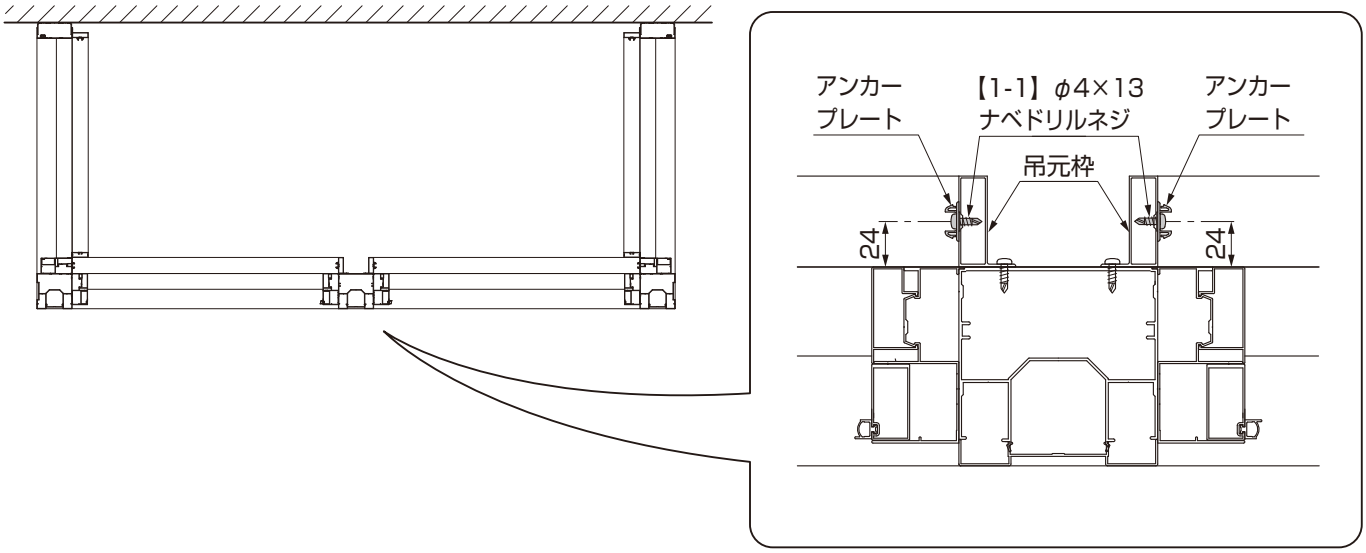


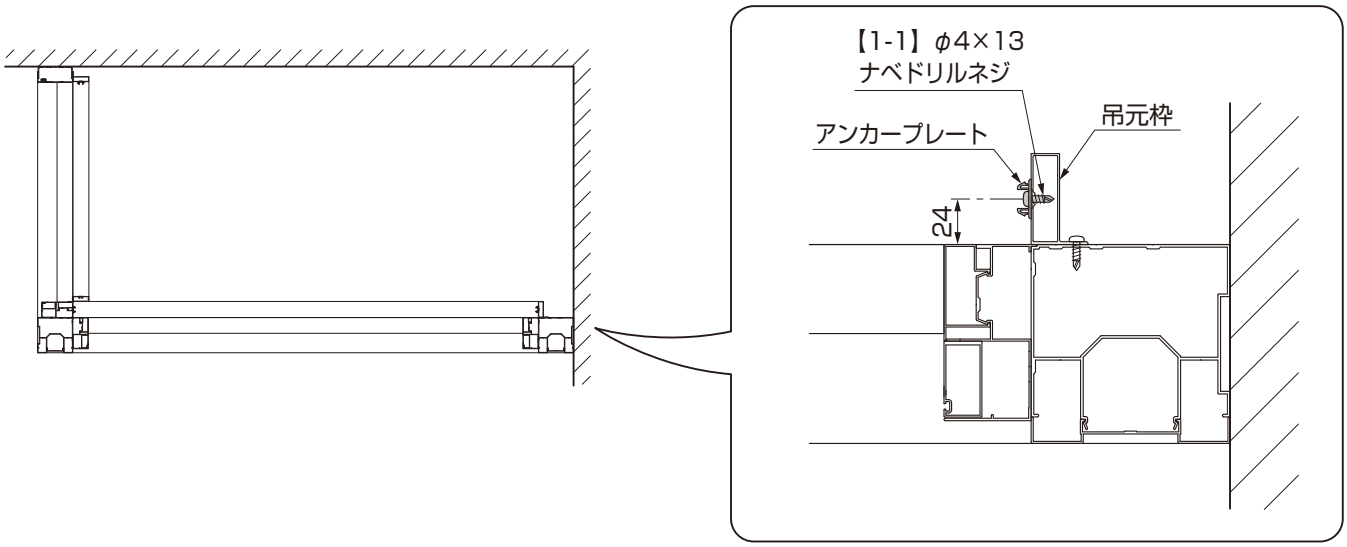

②アンカープレートのリケイ紙をはがし、戸当り側 本体側面の縦枠受けに【1-1】で取付けてください。

## （3）2.5間以上の腰壁タイプの場合
## 連棟タイプの場合




①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【1-1】で固定してください。

## （4）入隅納まりの場合




①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【1-1】で固定してください。

# 9.（つづき）

## 9-2 網戸の建込み

**ポイント**

●網戸本体に貼ってある、「上側」シールを上にして建込んでください。

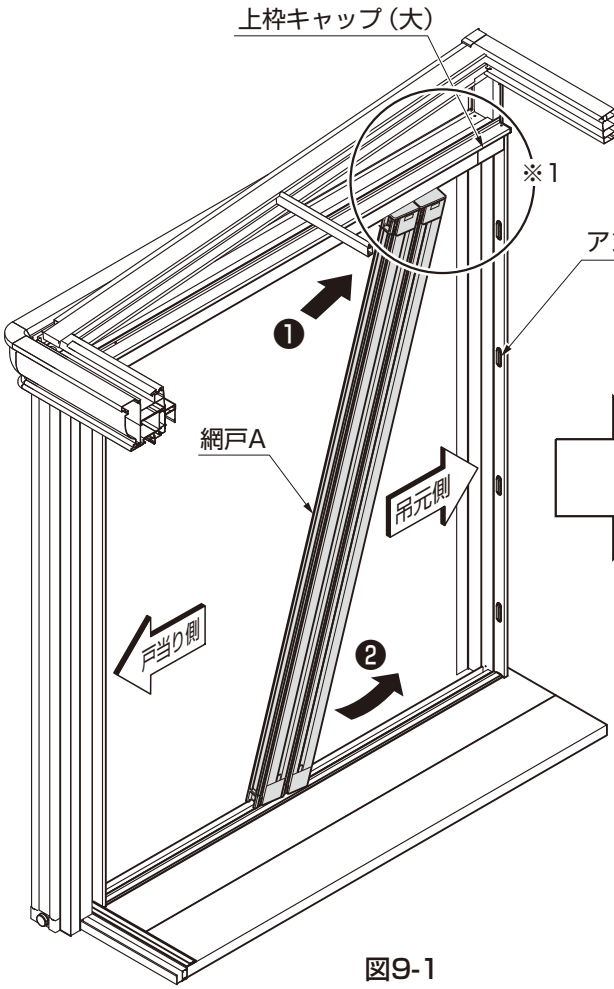



図9-1

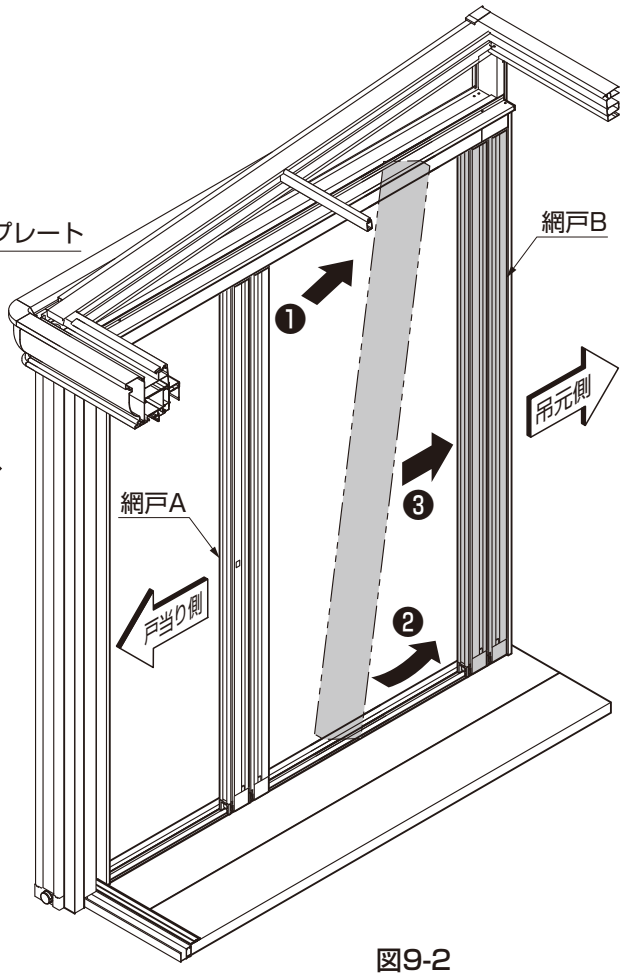
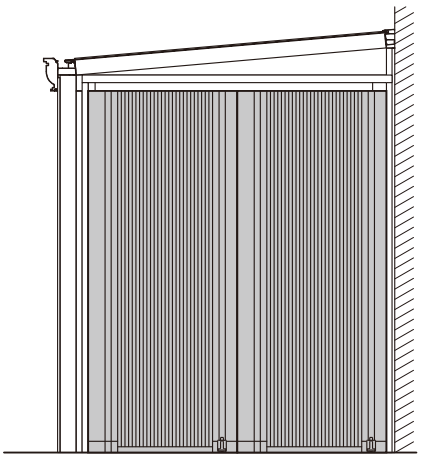



図9-2



### （1）側面側の場合

①網戸A（戸当り用）、網戸B（吊元・連結用）の順で網戸を斜めにして上枠キャップ（大）から上枠に建込んでください。（※1）（図9-1参照）
②吊元の網戸Bを吊元枠に押付けて、アンカープレートにはめて固定してください。（図9-2参照）
③網戸をすべて連結してください。

**ポイント**

●取付け後、収納枠を引き、吊元枠から外れないことを確認してください。

## （2）正面側の網戸建込み順序

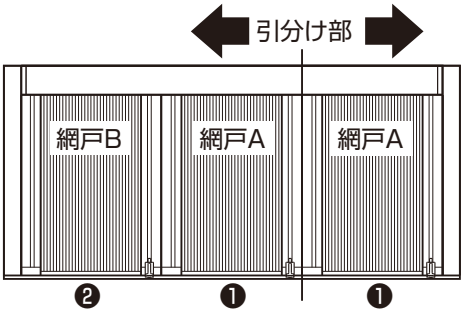



図9-3　基本タイプ1.5間

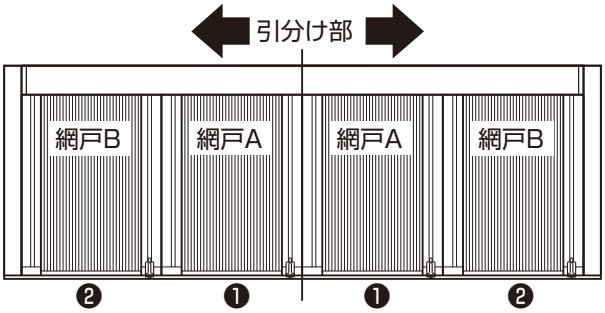



図9-4　基本タイプ2.0、2.5間

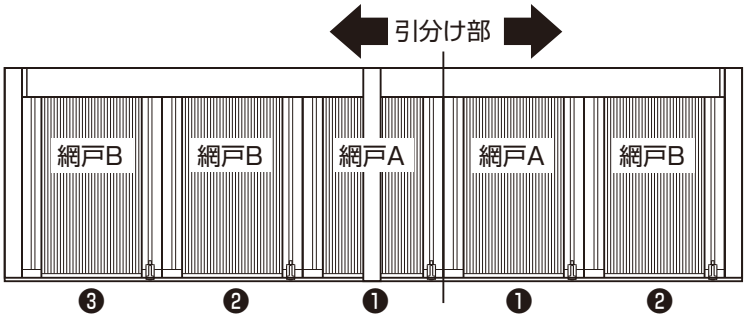



図9-5　基本タイプ3.0間

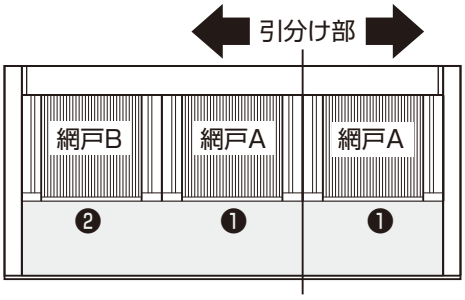



図9-6　腰壁タイプ1.5間

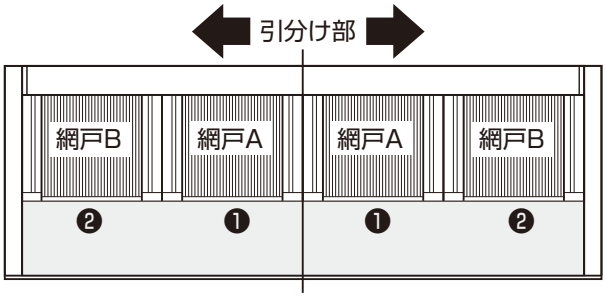



図9-7　腰壁タイプ2.0間

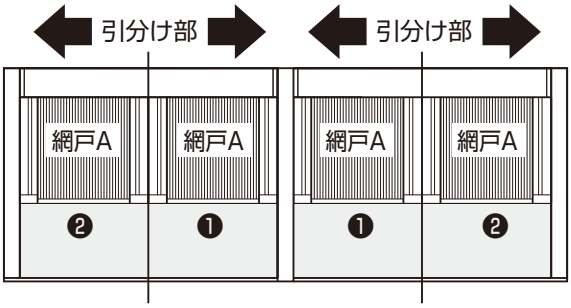



図9-8　腰壁タイプ2.5間

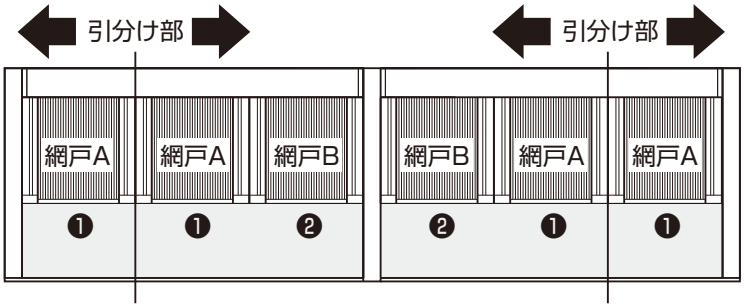



図9-9　腰壁タイプ3.0間

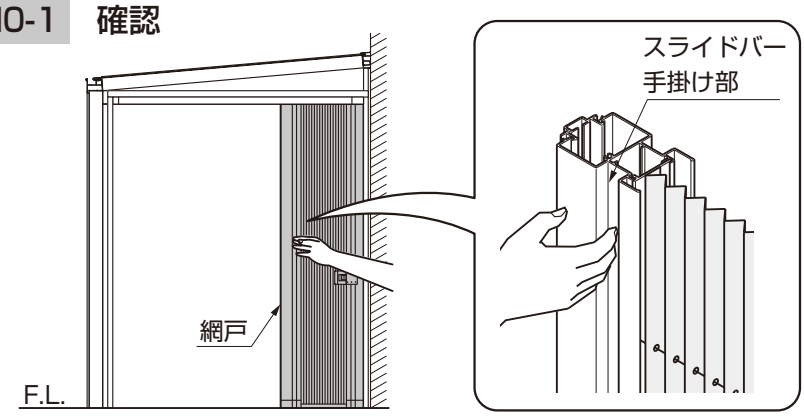
①上図を参照して、❶～❸の順で、正面側に網戸を建込んでください。

**ポイント**

●引分け部を境に各吊元側に取付ける網戸を網戸A、網戸Bの順で建込んでください。
●基本タイプ1.5間、3.0間と腰壁タイプ1.5間、3.0間の場合は、引分け部が中心よりズレます。

# 10. 網戸の確認と調整

## 10-1 確認




①網戸の開閉に異状がないか確認してください。

**補 足**

●開閉はスライドバーの手かけ部に手をかけて行なってください。

## 10-2 調整

※網戸の調整は基本的には不要ですが、開閉時にガタツキ等がある場合、引渡し前に行なってください。

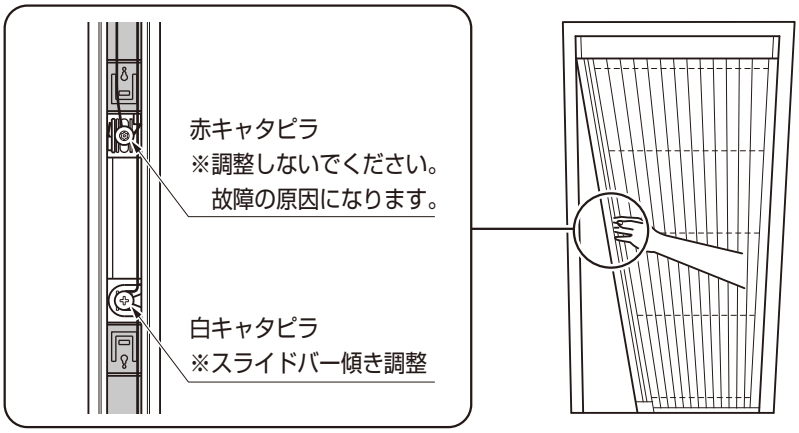



図10-1

**補 足**

●戸当り側又または、収納枠側の枠が図10-1のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合に調整を行なってください。

### （1）マグネットホルダーの取外し

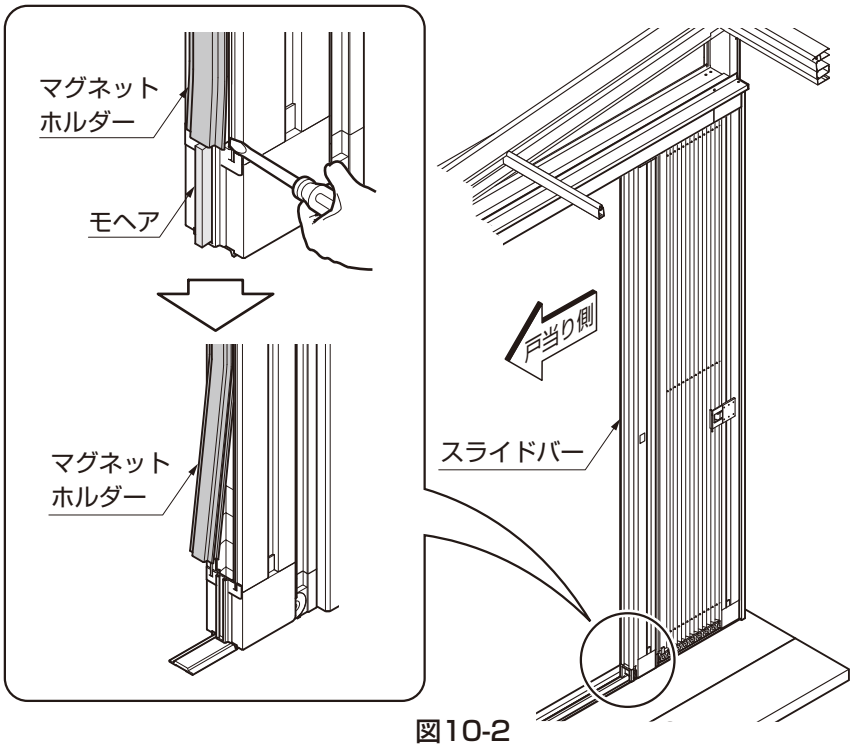



図10-2

①マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナスドライバー差込んでください。

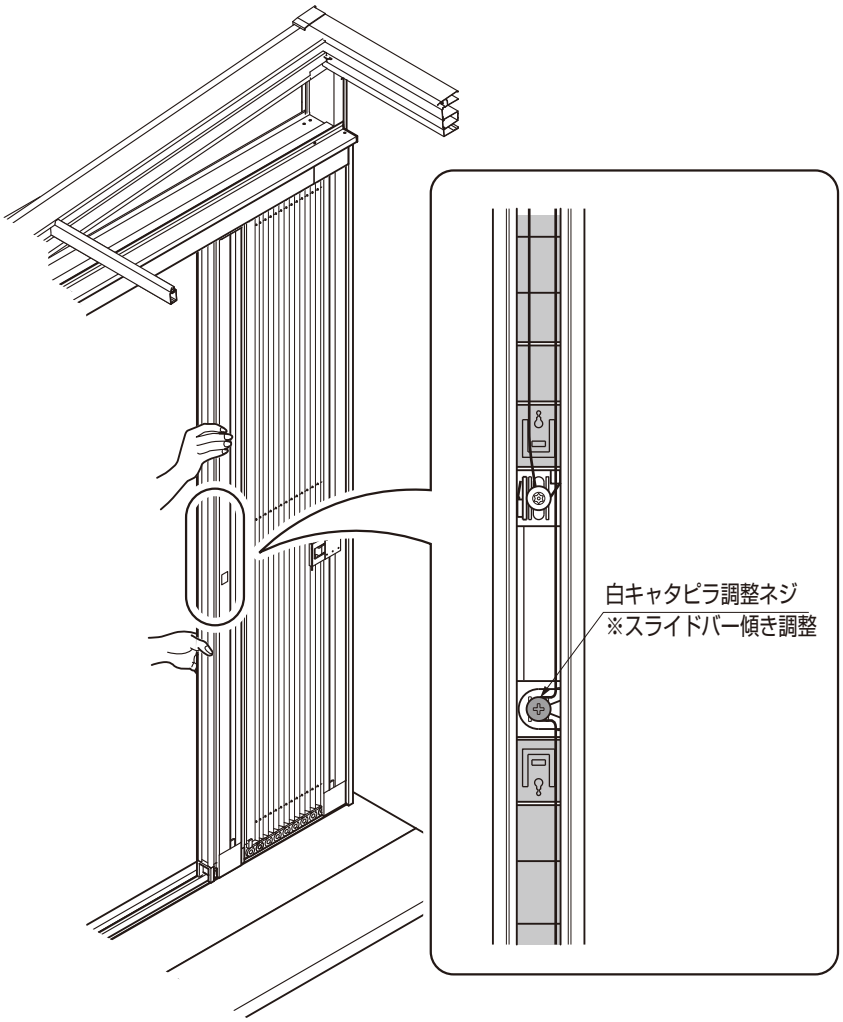
②そのままマイナスドライバーを持ち上げて、マグネットホルダーをスライドバーから取外してください。

③マグネットホルダーの外れた部分を持って、下から引きはがすように、上まで全部取外してください。

**ポイント**

●マグネットホルダー内のマグネットには向きがあります。
元に戻す際に向きを間違えないために、テープなどで印をしておくことをお勧めします。

## （2）スライドバーの調整



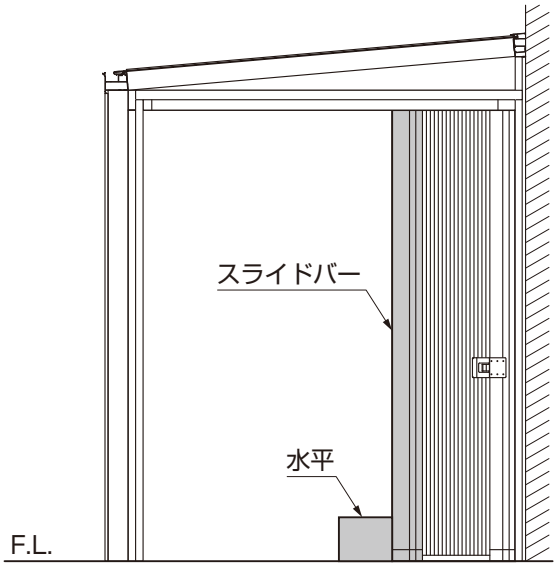

①白キャタピラネジを緩めてください。

②スライドバーの上下を持って水平にしてください。

③白キャタピラネジを締めてください。

**ポイント**

●ネジは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用すると、ネジが破損する場合があります。



# 10.（つづき）

## 10-2　つづき

### （3）マグネットホルダー固定の確認

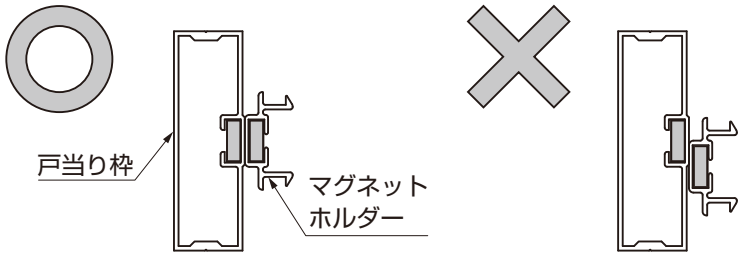



図10-3　片引きの場合

①マグネットホルダーが戸当り枠（片引き仕様）もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

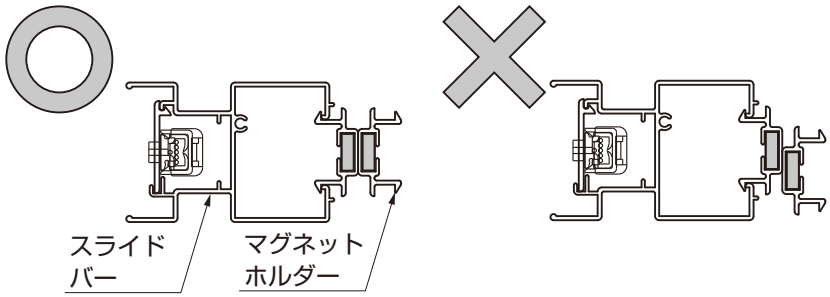



図10-4　引き分けの場合

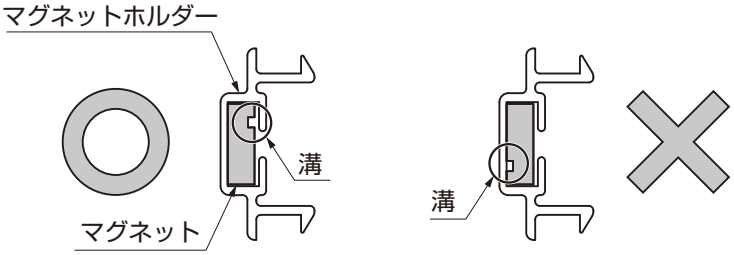



図10-5　片引きの場合

**補 足**

●図10-3、図10-4のようにマグネットホルダーがズレて固定される場合は、マグネットの溝を図10-5、図10-6の通りにしてください。

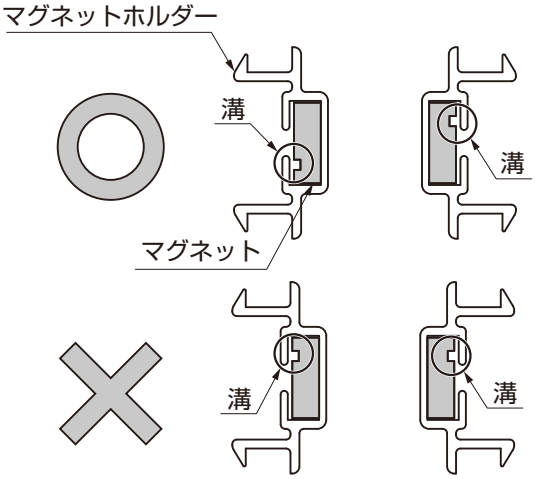
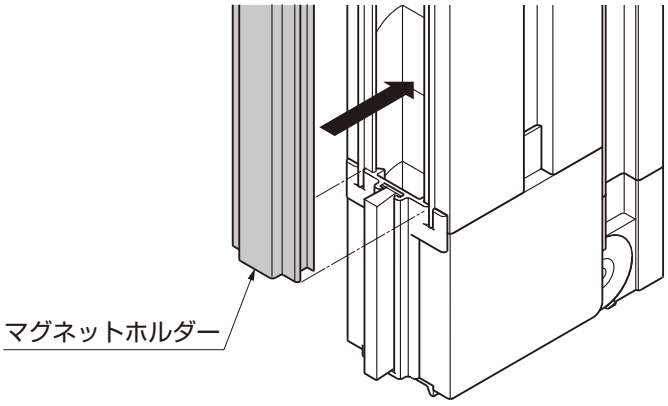



図10-6　引き分けの場合

## （4）マグネットホルダーの取付け　※全ての調整が終わったことを確認した後に行なってください。




①マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ、押付け取付けてください。

②下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けてください。

## 10-3　キャタピラが外れてしまった場合

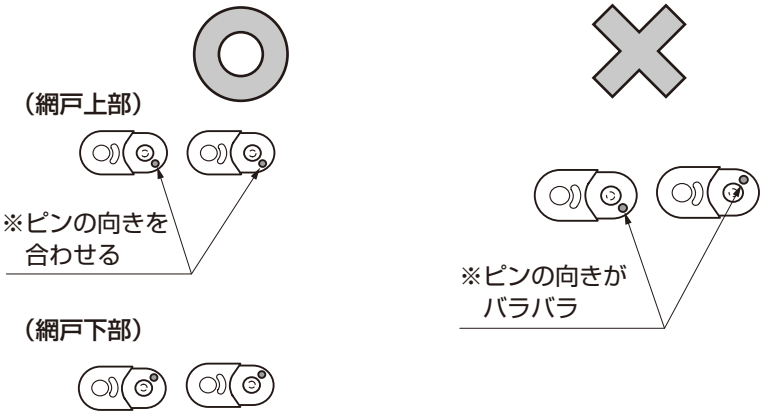



図10-7　キャタピラの向き

①図10-7のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。

**補 足**

●図10-8のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

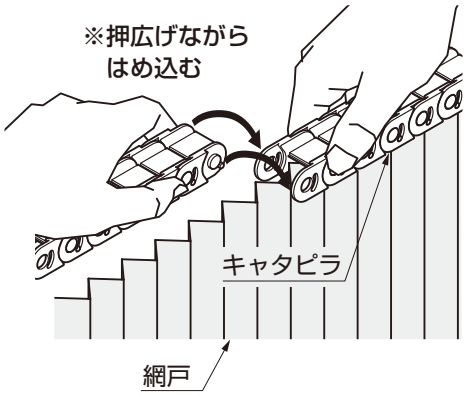
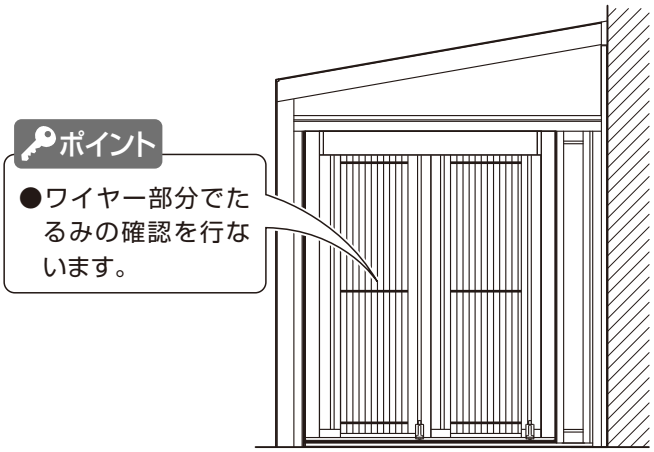



図10-8　キャタピラのはめ方

# 11.ワイヤーの確認と調整

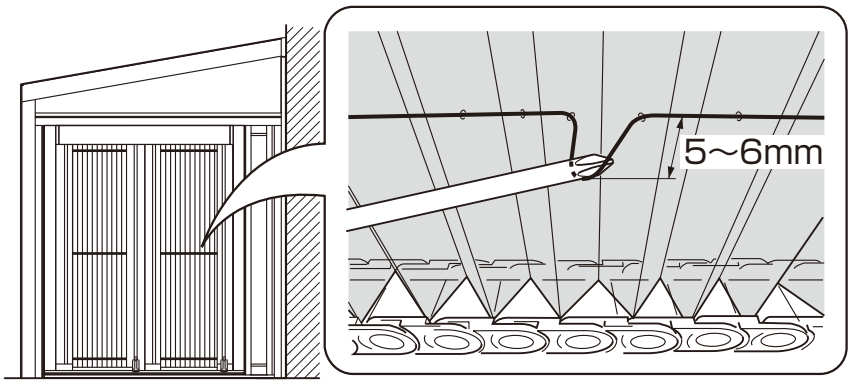
## 11-1　ワイヤーのたるみの確認




①網戸を開いてください。

**ポイント**

●網戸を開いた状態でたるみの確認を行います。

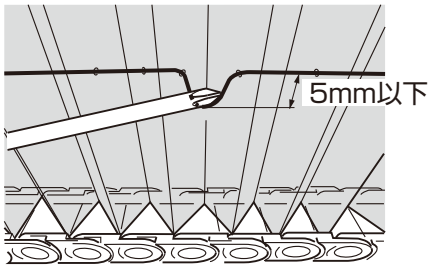



②ワイヤーのたるみが5～6mmであることを確認してください。

**ポイント**

●網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合は、次のページの「11-2 ワイヤーのたるみの調整」を行ってください。

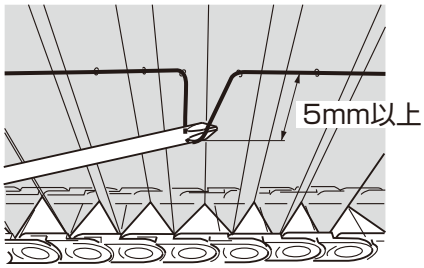
【たるみが5mm以下の場合】




**ポイント**

●網戸がはりすぎです。

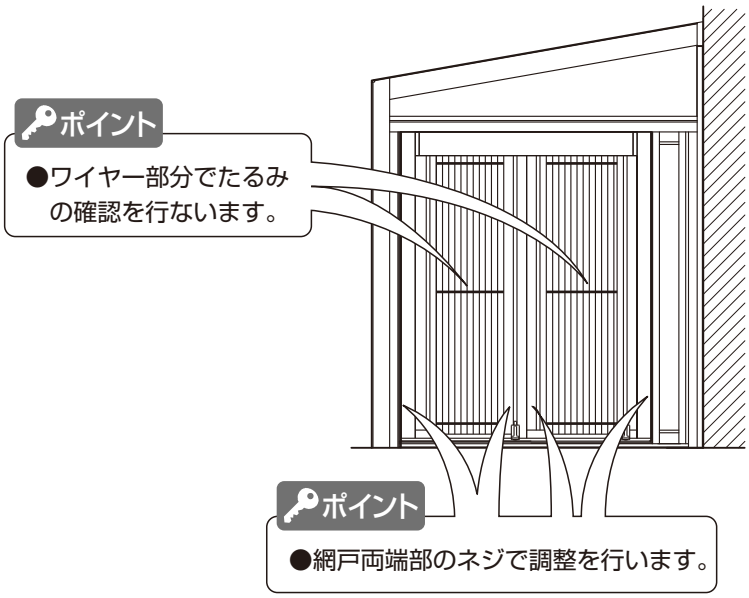
【たるみが5mm以上の場合】




**ポイント**

●網戸がたるみすぎです。

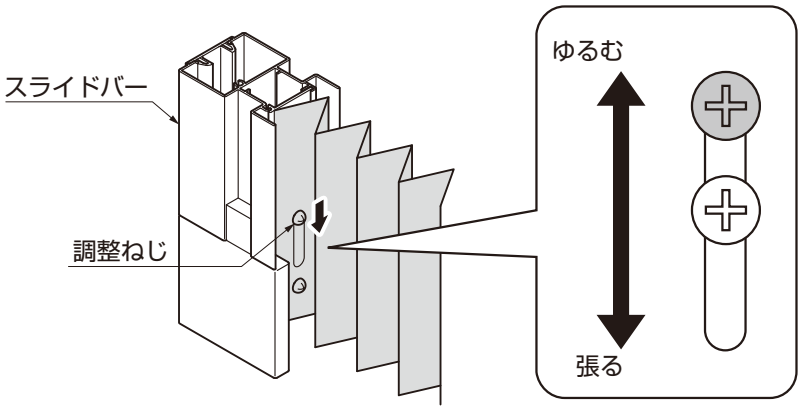
## 11-2 ワイヤーのたるみの調整




**ポイント**

●網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合のみ本作業を行なってください。

①網戸を開いてください。




②調整ネジを上下させて網戸のはりを調整してください。

**ポイント**

●調整が完了したら、再度「11-1 ワイヤーのたるみの確認」を行なってください。